




**Microsoft System Center Operations Manager
向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.2
ユーザーズガイド**



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすいするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2016 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2016 - 02

Rev. A00

目次

1 はじめに.....	6
本書で使用される用語.....	6
本リリースの新機能.....	7
Dell Server Management Pack Suite の主要機能.....	7
2 Dell Server Management Pack Suite 機能の概要.....	9
3 エージェントベースの監視機能.....	10
拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較.....	10
検出とグループ化.....	10
OpsMgr での Dell サーバーの検出.....	11
エージェントベースの監視機能による検出.....	11
監視.....	12
監視対象ハードウェアコンポーネント.....	12
ビュー.....	14
ユニット監視.....	21
ルール.....	26
タスク.....	27
タスクサマリ.....	28
Dell タスクの実行.....	28
Dell Windows サーバータスク.....	29
レポート.....	33
レポートへのアクセス.....	33
OpenManage Windows イベントログレポートの生成.....	33
BIOS 設定レポートの生成.....	34
ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成.....	34
RAID 設定レポートの生成.....	34
4 エージェントフリーの監視機能.....	36
拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較.....	36
検出とグループ化.....	36
エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバーの検出.....	37
Dell エージェントフリー監視機能による検出.....	38
監視.....	38
監視対象ハードウェアコンポーネント.....	39
ビュー.....	41
エージェントフリー監視機能のための Dell ユニット監視.....	45
ルール.....	49


Dell システムイベント処理のルール.....	49
Dell サーバー	49
タスク.....	50
タスクサマリ.....	50
Dell エージェントフリー監視機能を使用した Dell タスクの実行.....	50
Dell サーバータスク.....	51
5 DRAC 監視機能.....	53
検出とグループ化.....	53
DRAC デバイスの検出.....	53
DRAC 監視機能による検出.....	54
監視.....	54
アラートビュー.....	55
ダイアグラムビュー.....	55
状態ビュー.....	56
DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視	56
ルール.....	57
Dell システムイベント処理のルール.....	57
DRAC デバイス.....	57
タスク.....	58
タスクサマリ.....	58
DRAC を使用した Dell タスクの実行.....	58
Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク.....	58
6 シャーシ監視機能.....	60
検出とグループ化.....	60
シャーシデバイスの検出.....	60
Dell シャーシ監視機能による検出.....	61
監視.....	61
監視対象ハードウェアコンポーネント.....	62
アラートビュー.....	63
ダイアグラムビュー.....	63
状態ビュー.....	65
シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視	65
ルール.....	67
Dell システムイベント処理のルール.....	67
シャーシデバイス.....	67
タスク.....	67
タスクサマリ.....	68
Dell シャーシを使用した Dell タスクの実行.....	68
Dell シャーシタスク.....	68

7 シャーシモジュラーサーバー関連機能	69
シャーシモジュラーサーバー関連機能による検出.....	69
8 Feature Management Dashboard	70
Dell Feature Management パックによる検出.....	70
タスク.....	70
機能管理タスク.....	70
9 Dell Server Management Pack Suite のライセンス	74
10 関連文書とリソース	76
Operations Manager のためのパフォーマンスと拡張性に関するマイクロソフトガイドライン.....	76
その他の必要マニュアル.....	76
デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	77
デルへのお問い合わせ.....	77
11 付録 A – 問題とその解決	78
問題と解決策.....	78
既知の制限.....	79
12 付録 B	80
シンプル認証 Run As アカウントの作成.....	80
エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバー監視のための Run As アカウントの関連 付け.....	80
重要度レベルのインジケータ.....	81
Run As アカウントの関連付けタスク – エージェント不要の監視機能.....	82
13 付録 C - 外部プログラムの有効化タスク	83
アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成.....	83
License Manager 起動タスクの作成.....	84

はじめに

本書は、Microsoft System Center Operations Manager 用 Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.2 で実行可能な操作について説明します。

Dell Server Management Pack Suite を Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、または Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 と統合した環境では、Dell デバイスの管理、監視の他、可用性の確保が可能になります。

 **注意:** データの破損、損失、またはそれら両方を避けるため、本書の手順は **Microsoft Windows オペレーティングシステム** および **Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager**、**Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager**、**Microsoft System Center 2012 Operations Manager**、および **Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2** の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。

 **メモ:** Dell Server Management Pack Suite のリリースノートをお読みください。これには、既知の問題に関する情報のほか、ソフトウェアおよび管理サーバーの要件に関する最新の情報が掲載されています。リリースノートは、dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement の Systems Management マニュアルページに掲載されています。リリースノートは、自己解凍型実行ファイル **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v6.2_Axx.exe** (xx は Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.2 のリリース番号) にもパッケージされています。

本書で使用される用語

表 1. 本書で使用される用語

用語	意味
OpsMgr	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 を指します。
OpsMgr 2012	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、および Microsoft System Center 2012 Operations Manager。
Dell Remote Access Controller (DRAC)	特に指定のない限り、Dell サーバー、Dell ブランドの OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバーの iDRAC。
シャーシ	特に指定のない限り、Chassis Management Controller (CMC)。
Dell サーバー	特に指定のない限り、Dell PowerEdge サーバー、Dell PowerVault モノリシックとモジュラーサーバー、サポートされるラック型ワークス

用語	意味
	テーション、Dell ブランドの OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバー。
エージェントベースの監視	特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視。
エージェントフリー監視	特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントフリーの監視。

本リリースの新機能

Dell Server Management Pack Suite の本リリース新機能は次のとおりです。

- Dell ブランドの OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバーのサポート。
- 簡略化された検出および監視機能。シャーシ、およびシャーシモジュラーサーバー相関に RACADM ユーティリティは必要ありません。

Dell Server Management Pack Suite の主要機能

本バージョンの Dell Server Management Pack Suite は、Dell デバイスを管理するために次の機能を提供します。

表 2. 機能と機能性

機能	機能性
エージェントベースの検出と監視 - Dell サーバーおよびラック型ワークステーション	対応する Windows オペレーティングシステム、および対応する Dell OpenManage Server Administrator を実行する Dell PowerEdge、Dell PowerVault モノリシックとモジュラーシステム、Dell OEM Ready サーバー、およびサポートされる Dell Precision ラックの、エージェントベースの検出と監視をサポートします。
エージェントフリーの検出と監視 - Dell サーバーおよびラック型ワークステーション	次をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • 第 12 世代と第 13 世代の Dell PowerEdge サーバー、Dell PowerVault システム、サポートされる Dell Precision ラック、Dell ブランドの OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバーの、エージェントフリーの検出と監視。 • エージェントフリー監視システム用の SNMP トラップ。
検出と監視 - シャーシ管理	次をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • Dell シャーシ、および Dell OEM Ready シャーシデバイスの検出と監視。 • CMC シャーシのサーバーモジュールとシャーシスロットサマリの検出。 • Dell Chassis デバイス用の SNMP トラップ。

機能	機能性
検出と監視 – Dell Remote Access Controller (DRAC)	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 対応 iDRAC デバイスの検出と監視。 • DRAC デバイスの SNMP および PET トラップ。
シャーシブレード関連	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CMC シャーシ、および Dell OEM Ready シャーシとの Dell サーバーの関連。 • Dell モジュラーサーバーとのシャーシ共有ストレージコンポーネントの関連。

Dell Server Management Pack Suite 機能 の概要

OpsMgr の Dell Server Management Pack Suite では、以下を行うことができます。

- Dell サーバーの検出および分類：
 - Dell サーバー（エージェントベースの監視およびエージェントフリーの監視）
 - Dell Remote Access Controller
 - Dell シャーシ（Dell PowerEdge FX2/ FX2s、Dell PowerEdge VRTX、Dell PowerEdge M1000e、および Dell OEM Ready シャーシ）
 - サポートされる Dell Precision ラック
- 検出された Dell システムを監視します。
- アラートを表示、分析し、技術情報（KB）記事を使用して解決します。
- 検出された Dell システムで様々なタスクを実行します。
- 検出された Dell システムのレポートの表示。

エージェントベースの監視機能

エージェントベースの監視機能は、対応する Windows オペレーティングシステムおよび OpenManage Server Administrator (OMSA) を実行することによって、Dell PowerEdge モノリシックとモジュラーサーバー、Dell PowerVault ストレージサーバー、Dell OEM Ready サーバー、およびサポートされる Dell Precision ラックの検出と監視をサポートします。サポートされる OMSA バージョンについての情報は、『Microsoft System Center Operations Manager 用 Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.2 リリースノート』を参照してください。

Dell Server Management Pack Suite インストーラは、エージェントベースの監視機能を自動的にインポートします。

拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較

次の表は、拡張可能エディションおよび詳細エディション機能を使用することができる環境の理解に役立ちます。

表 3. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
エージェントベースの監視	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネントグループのインベントリおよび監視。iDRAC の有無も表示されます。 レポート – OpenManage Windows イベントログレポートのみが使用可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントの詳細インベントリおよび正常性監視を行います。 メモリ、プロセッサ、ネットワークインタフェース、センサー、ストレージコントローラ、ディスク、および仮想ディスクのメトリックスを表示します。また、BIOS 情報も表示されます。 レポート – BIOS 設定、ファームウェアとドライババージョン、および RAID 設定レポートの可用性。

検出とグループ化


Dell Server Management Pack Suite では、Dell サーバー（モノリシック、モジュラー、および Sled）および対応 Dell Precision ラックの検出と分類が可能です。次の表では、ハードウェア検出およびグループ化の詳細をリストしています。

表 4. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell サーバー	Dell モノリシックサーバー Dell モジュラーサーバー Dell Sled サーバー	Dell PowerEdge システム Dell PowerVault ストレージサーバー
Dell ラック型ワークステーション	ラック型ワークステーションダイアグラム	Dell Precision ラック

OpsMgr での Dell サーバーの検出


Dell サーバーは、OpsMgr エージェント管理インフラストラクチャを介して検出されます。

 **メモ:** Dell サーバーは、OpsMgr コンソールの **管理** セクションにある **エージェント管理対象** ビューで検出します。

Dell サーバーを検出するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4. **検出ウィザード** を実行し、**Windows コンピュータ** を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。

 **メモ:** インストーラは、エージェントベースの監視機能管理パックを OpsMgr に自動的にインポートします。インストーラが管理パックのインストールに失敗した場合は、OpsMgr の **管理パック** の **インポート** ウィザード、または **Feature Management Dashboard** を使用して管理パックをインポートしてください。

 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) がインストールされていない、またはサポートされていない OSMA バージョンがインストールされている Dell サーバーは、Dell 管理対象外としてグループ化されます。

エージェントベースの監視機能による検出

表 5. エージェントベースの監視機能検出

検出	説明
Dell サーバー検出	Dell サーバーを分類し、属性データを投入します。
Dell サーバーネットワークインタフェース検出	ネットワークインタフェースを Dell サーバーのグループレベルで検出します。
Dell サーバーハードウェアコンポーネント検出	グループレベルのハードウェアコンポーネント（センサー、プロセッサ、メモリ、および電源装置）を検出します。

検出	説明
Dell OpenManage Software サービス検出	OpenManage Server Administrator Windows サービスのオブジェクトを検出します。
Dell サーバー BIOS 詳細検出	各 Dell サーバーの BIOS オブジェクトを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell サーバーメモリ詳細検出	Dell サーバーのメモリインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell サーバー電源装置詳細検出	Dell サーバーの電源装置インスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell サーバープロセッサ詳細検出	Dell サーバーのプロセッサインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell サーバーストレージ詳細検出	Dell サーバーの完全なストレージ階層を検出します (詳細エディションのみ)。
Dell Windows サーバーの詳細センサー検出	Dell サーバーのセンサーインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェース詳細検出モジュール	Dell サーバーの物理およびチームングされたネットワークインタフェースインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェースグループ検出モジュール	ネットワークインタフェースグループを検出します。
Dell ラック型ワークステーショングループ検出	Dell ラック型ワークステーショングループを検出します。
Dell 管理対象外サーバーグループ検出	Dell 計装がない、または必須バージョンより前の計装バージョンがあるために監視されていない Dell サーバーを検出します。

監視

OpsMgr の **監視** ペインは、検出された Dell サーバーの完全な正常性情報を表示するビューを選択するために使用されます。 [重要度レベルインジケータ](#) は、ネットワーク上の Dell サーバーの正常性を示すために役立ちます。

これには、一定間隔およびイベント発生時の両方における Dell モジュラー / モノリシックサーバー、および Dell Precision ラックとそれらのコンポーネントの正常性の監視が含まれます。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 6. 監視対象ハードウェアコンポーネント – 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
iDRAC	はい	はい
メモリ	はい	はい
ネットワークインタフェースグループ	はい	はい
OpenManage Software サービス	はい	はい
電源装置	はい	はい
プロセッサ	はい	はい
保管時	はい	はい
ストレージコントローラ	はい	はい
センサー	はい	はい
物理ネットワークインタフェースのインスタンス	いいえ	はい
BIOS 設定のインスタンス	いいえ	いいえ
バッテリーセンサー	いいえ	はい
バッテリーセンサーグループ	いいえ	はい
電流センサー	いいえ	はい
電流センサーグループ	いいえ	はい
シャーシイントルージョンセンサー	いいえ	はい
ファンセンサー	いいえ	はい
ファンセンサーグループ	いいえ	はい
メモリユニットインスタンス	いいえ	はい
ネットワークインタフェース物理グループ	いいえ	はい
ネットワークインタフェースチーミンググループ	いいえ	はい
プロセッサユニットのインスタンス	いいえ	はい

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
電源装置ユニットのインスタンス	いいえ	はい
ストレージコントローラ物理ディスクのインスタンス	いいえ	はい
ストレージコネクタ物理ディスクグループ	いいえ	はい
ストレージコントローラコネクタのインスタンス	いいえ	はい
ストレージコントローラエンクロージャのインスタンス	いいえ	はい
ストレージコントローラセンサー	いいえ	はい
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	いいえ	はい
ストレージエンクロージャ EMM インスタンス	いいえ	はい
ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ	いいえ	はい
ストレージエンクロージャ電源装置グループ	いいえ	はい
ストレージエンクロージャセンサー	いいえ	はい
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス	いいえ	はい
電圧センサー	いいえ	はい
電圧センサーグループ	いいえ	はい

ビュー

Dell Server Management Pack Suite は、OpsMgr コンソールの **監視** → **Dell** で次のタイプのビューを提供します。

- [アラートビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [パフォーマンスおよび電源監視ビュー](#)
- [状態ビュー](#)

アラートビュー

このビューは、Dell サーバーおよびラック型ワークステーションからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。次のアラートが表示されます。

- Dell サーバーおよびラック型ワークステーション用の Dell OpenManage Server Administrator から受信したイベントのアラート。
 - **メモ:** 情報アラートはデフォルトでオフになっています。情報アラートを有効にするには、**Feature Management Dashboard** 上で、エージェントベース監視機能の **情報アラートをオンに設定する** タスクを実行します。
- Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受け取ったイベントの リンクアップまたはリンクダウンアラート。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
2. **Dell** → **アラートビュー** とクリックします。

次のアラートが表示されます。

 - **ネットワークインタフェースアラート** – 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
 - **サーバーおよびラック型ワークステーションアラート** – Dell サーバーおよびラック型ワークステーションからの Server Administrator アラートが表示されます。
 - **Dell ラック型ワークステーションのアラートビュー**
 - **ネットワークインタフェースアラート** – 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
 - **ラック型ワークステーションアラート** – Dell ラック型ワークステーションからの Server Administrator アラートが表示されます。
3. 任意の **アラートビュー** を選択します。

各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
4. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、ネットワーク上のすべての Dell サーバーおよび対応ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムビューの表示

OpsMgr コンソールでダイアグラムビューを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** → **Dell** → **ダイアグラムビュー** とクリックします。
2. 次のビューの **ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - **Dell ラック型ワークステーションダイアグラムビュー**
 - [ラック型ワークステーションダイアグラム](#)
 - **Dell サーバーダイアグラムビュー**
 - [モジュラーシステムダイアグラム](#)

- [モノリシックサーバーダイアグラム](#)
- [Sled サーバーダイアグラム](#)

3. 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。

右側のペインに、選択した Dell サーバーまたはラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

完全ダイアグラムビュー

完全ダイアグラムビュー には、OpsMgr が監視するすべての Dell デバイスが図示されます。このダイアグラムでは、個々のデバイス、およびそれらのコンポーネントのステータスを展開して確認することができます。次にに関する詳細を表示できます。

- Dell モジュールおよびモノリシックサーバー
- Dell Sled グループ
- Dell ラック型ワークステーション
- Chassis Management Controller
- Remote Access Controller
- Dell 管理対象外システム

ラック型ワークステーションダイアグラム

Dell ラックワークステーションダイアグラムビュー には、すべての対応ラック型ワークステーションの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスおよびコンポーネントを展開してステータスを確認することができます。ダイアグラムのラックワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインにその詳細を表示してください。

モジュールおよびモノリシックシステム

モジュールシステムダイアグラム および **モノリシックサーバーダイアグラム** ビューには、次の詳細情報が表示されます。

- 物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage ソフトウェアサービス
- ストレージコンポーネント
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC

モジュールシステムダイアグラム

Dell モジュールシステムのダイアグラムビュー は、すべての Dell モジュールシステムのグラフィック描写が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

モノリシックサーバーダイアグラム

Dell モノリシックシステムのダイアグラムビュー では、すべての Dell モノリシックシステムが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Sled サーバーダイアグラム

Dell Sled サーバーダイアグラムビューには、すべての Dell Sled サーバーの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスおよびコンポーネントを展開してステータスを確認することができます。ダイアグラムの Sled サーバーを選択して、**詳細ビュー** ペインにその詳細を表示します。

Dell サーバーインスタンスダイアグラム

Dell サーバーを選択し、**Dell モジュラーシステム** または **Dell モノリシックシステム** のダイアグラムビューから、そのシステムに固有なダイアグラムを表示します。

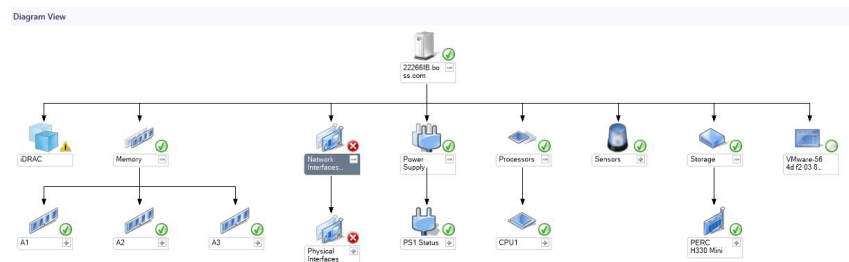


図 1. Dell サーバーインスタンスダイアグラム

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- 物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage ソフトウェアサービス
- ストレージコンポーネント
- BIOS (インベントリのみ)

エージェントベース監視機能の詳細エディションによって、メモリ、プロセッサ、ネットワーク、センサー、ストレージ、および電源装置コンポーネントの詳細が表示されます。

ストレージコントローラのコンポーネント階層

物理ディスク、コネクタ、仮想ディスク、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントの状態と正常性を表示するには、任意の Dell システムインスタンスダイアグラムビューで **ストレージ** コンポーネントを展開します。

ネットワークインタフェースのコンポーネント階層

ネットワークインタフェースグループは、Dell サーバー (エージェントベース) 上に Intel または Broadcom ネットワークインタフェースカードが存在し、有効になっている場合にのみ作成されます。ネットワークインタフェースは、**物理インタフェース** および **チーミングされたインタフェース** にグループ化されています。ネットワークインタフェースを無効にすると、次の検出サイクル時にネットワークインタフェースグループが管理から削除されます。

チーミングされたネットワークインタフェースと、それに関連する物理ネットワークインタフェースの間に、参照関係が作成されます。参照関係は、**Dell Windows Server の物理およびチーミング関係検出** の **相関関係**

の有効化 属性が有効になっているときのみ表示できます。詳細に関しては、[相関関係の有効化](#)を参照してください。

相関関係の有効化

相関関係の有効化 属性を有効にするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
3. **オーサリング タブ**で、**管理パックオブジェクト** → **オブジェクト検出** とクリックします。
4. **次を検索** : フィールドで、Dell Windows Server Physical and Teamed Relationship Discovery Rule を検索します。
5. 右クリックで **Dell Windows** サーバー物理関係およびチームングされた関係の検出ルール → **上書き** → **オブジェクト検出の上書き** → **クラス : チームングされたネットワークインタフェースインスタンス (エンリッチ)** の全オブジェクト と進みます。
プロパティの上書き ページが表示されます。
6. **相関関係の有効化** を選択して、**上書き値** を **True** に設定し、**OK** をクリックします。

ダイアグラムビューにあるネットワークインタフェースのステータスロールアップは、**ネットワークインタフェース グループ**レベルまでのみが表示されます。例えば、Dell システムの残りのコンポーネントが正常で、1つのみ、または複数のネットワークインタフェースが重要または非重要状態である場合、Dell システムでは正常性状態の正常アイコンが表示され、**ネットワークインタフェース グループ**では重要または警告アイコンが表示されます。

Diagram View

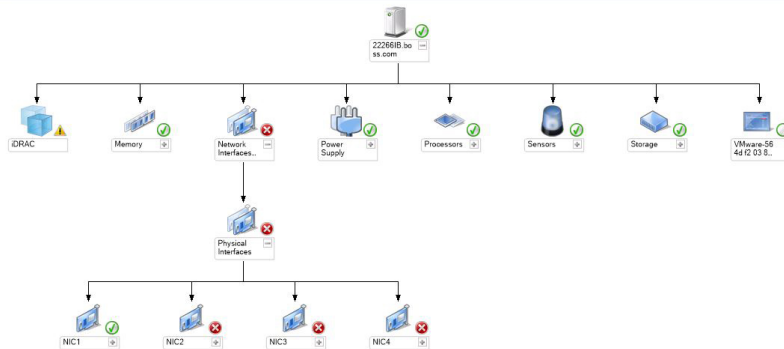


図 2. ネットワークインタフェースのダイアグラムビュー

ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップの有効化

サーバーレベルでのステータスロールアップを表示するには、**ネットワークインタフェースグループ**から **Dell サーバーへの正常性ロールアップ** 依存性監視を有効化する必要があります。

監視を有効化するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
3. 左ペインで **監視** をクリックし、次に **ネットワークインタフェースグループ** で機能を有効にするサーバーのタイプを検索します (例 : Dell Windows Server)。
4. **エンティティ正常性** → **可用性** とクリックします。
5. **ネットワークインタフェースグループ**から **Dell サーバーへの正常性ロールアップ** を右クリックし、**上書き** → **監視の上書き** → **クラス : Dell Windows サーバーの全オブジェクト** を選択します。
上書きプロパティ 画面が表示されます。


6. 有効を選択し、上書き値を True に設定します。
7. 管理パック 下で、宛先の管理パックの選択：ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または 新規... をクリックして管理パックを作成します。
新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。
 - a. 新規... をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
 - b. 名前 フィールドで管理パックの名前を入力して、新規 をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
 - c. 作成 をクリックします
宛先の管理パックの選択：ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されていません。
8. 適用 をクリックします。


パフォーマンスおよび電源監視ビュー

パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、監視 をクリックします。
2. 監視 ペインで、Dell → パフォーマンスおよび電源監視 をクリックして、以下のビューを表示します。

- エージェントベースのディスクパフォーマンス (%)
- 環境温度 (セ氏)
- アンペア数 (アンペア)
- エネルギー消費量 (kWh)
- ピークアンペア数 (アンペア)
- ピーク電力 (ワット)
- 物理ネットワークインタフェース
- 電力消費量 (ワット)
- 電力消費量 (BTU/時)
- チェミカルされたネットワークインタフェース

 **メモ:** 電源監視は、特定の属性のための電源監視機能を備えた Dell サーバーのみに該当します。この機能は、エージェントベース監視機能の詳細エディションが存在するときに限り有効になります。

 **メモ:** エージェントベースのディスクパフォーマンス (%)、チェミカルされたネットワークインタフェースおよび物理ネットワークインタフェースのインスタンスは、デフォルトでは無効になっており、エージェントベース監視機能の詳細エディションがインストールおよびインポートされた場合にのみ表示されます。

3. 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。
収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、それがしきい値を超過するかどうかをチェックします。しきい値を超過すると、Dell サーバーが状態を変更してアラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、OpsMgr コンソールの **オーサリング** ペインから上書き (有効化) することができます。ユニット監視は、エージェントフリーの監視機能のための **Dell サーバー** オブジェクトで使用できます。ユニット監視のしきい値を有効にするには、[「パフォーマンスおよび電源監視ユニット監視の有効化」](#) を参照してください。

パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、「[パフォーマンスコレクションルール](#)」を参照してください。

パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化

パフォーマンスおよび電源監視ビューのユニット監視を有効にするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **管理パックオブジェクト** → **監視** をクリックし、**次を検索** : フィールドで **パフォーマンス** を検索します。
3. **Dell Windows サーバー** → **パフォーマンス** をクリックします。
4. 有効にしたいユニット監視を右クリックします。
5. **上書き** → **監視の上書き** と選択し、要件に応じてオプションを選択します。

例えば、クラス : Dell Windows サーバーのすべてのオブジェクトに対するユニット監視を上書きするには、クラス : **Dell Windows サーバーの全オブジェクト** を選択します。

上書きプロパティ 画面が表示されます。

6. **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
7. **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択** : ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択し、または **新規...** をクリックして管理パックを作成します。
新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。
 - a. **新規...** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
 - b. **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
 - c. **作成** をクリックします
宛先の管理パックの選択 : ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
8. **適用** をクリックします。

状態ビュー

このビューは、すべての Dell サーバーとラック型ワークステーションの正常性を表示するために使用できます。OpsMgr コンソールで、**監視** → **Dell** → **状態ビュー** をクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理されている各 Dell サーバーおよびラック型ワークステーションのステータスが表示されます。

次のデバイスのステータスを表示することができます。

- **サーバーおよびラック型ワークステーション (エージェントベース)**
- **Dell ラック型ワークステーションの状態ビュー**
 - **管理対象ラック型ワークステーション (エージェントベース)**
- **Dell サーバー状態ビュー**
 - **FM サーバー**
 - **Sled サーバー (エージェントベース)**

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。

ユニット監視

ユニット監視は、監視対象オブジェクト内で発生する可能性のある様々な状況を評価します。この評価の結果が、ターゲットの正常性状態を決定します。

ユニット監視には以下が含まれます。

- **イベント監視** – この監視は Dell 計装が Windows イベントログに記録するイベントによってトリガされ、対応するオブジェクトの正常性を示します。
- **定期監視** – 秒数間隔で設定された定期的なポーリングによってトリガされます。

次の表には、各種 Dell 監視と該当するパラメータが説明されています。

Dell ユニット監視 – 拡張可能エディション

エージェントベース – 拡張可能エディションの監視対象オブジェクトで発生する可能性のある様々な状態を評価するための監視です。

表 7. Dell ユニット監視 – 拡張可能エディション

Object (オブジェクト)	ユニット監視
メモリ	
Dell サーバーメモリステータス	イベントおよび定期的監視
Dell サーバーメモリ冗長ステータス	イベントおよび定期的監視
OpenManage Software サービス	
Dell Server Management (DSM) 接続サービス可用性ステータス	定期的
DSM Data Manager 可用性ステータス	定期的
DSM Event Manager 可用性ステータス	定期的
DSM Shared Service 可用性ステータス	定期的
DSM Storage Service 可用性ステータス	定期的
Windows Management Instrumentation (WMI) サービス可用性ステータス	定期的
電源装置	
Dell サーバー電源装置ステータス	イベントおよび定期的監視
プロセッサ	

Object (オブジェクト)		ユニット監視
	Dell サーバープロセッサステータス	イベントおよび定期的監視
センサー		
	Dell サーバーバッテリーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー電流ステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーファンスステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーイントルージョンセンサーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー温度センサーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー電圧センサーステータス	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ		
	ストレージコントローラステータス	イベントおよび定期的監視
ネットワークインタフェースグループ (ベーシック)		
	グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期的監視
ネットワークインタフェースグループ (エンリッチ)		
	グローバルエンリッチネットワークインタフェースステータス	イベントおよび定期的監視
	グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC		
	Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェース監視	定期的
Dell OM パフォーマンス		
	周囲温度の平均しきい値アラート監視	定期的
	アンペア数の平均しきい値アラート監視	定期的
	エネルギー消費量の平均しきい値アラート監視	定期的
	消費電力 (BTU/ 時間) の平均しきい値	定期的

Object (オブジェクト)	ユニット監視
消費電力 (ワット) の平均しきい値アラート監視	定期的
Dell OM サーバー非対応ユニット監視	定期的

Dell ユニット監視 – 詳細エディション

表 8. Dell ユニット監視 – 詳細エディション

オブジェクト	ユニット監視
メモリユニットインスタンス	
メモリエvent詳細監視	イベントおよび定期的監視
メモリユニット詳細監視	イベントおよび定期的監視
電源装置ユニットのインスタンス	
電源装置詳細	イベントおよび定期的監視
プロセッサユニットのインスタンス	
プロセッサ詳細	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラコネクタのインスタンス	
コントローラコネクタイvent監視	イベントおよび定期的監視
コントローラコネクタユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ EMM のインスタンス	
エンクロージャ EMM イベント監視	イベントおよび定期的監視
エンクロージャ EMM ユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラエンクロージャのインスタンス	
コントローラエンクロージャイベント監視	イベントおよび定期的監視
コントローラエンクロージャユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ物理ディスクのインスタンス	
コントローラ物理ディスクイベント監視	イベントおよび定期的監視
コントローラ物理ディスクユニット監視	イベントおよび定期的監視

オブジェクト		ユニット監視
	エンクロージャ物理ディスクイベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ物理ディスクユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ電源装置のインスタンス		
	エンクロージャ電源装置イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ電源装置ユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラセンサー		
	コントローラセンサーイベントユニット監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラセンサーユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ		イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ仮想ディスクのインスタンス		イベントおよび定期的監視
	コントローラ物理ディスクイベント監視	イベント
	コントローラ物理ディスクユニット監視	定期的
ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ		イベントおよび定期的監視
ストレージエンクロージャセンサー		
	エンクロージャファンイベントユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャファンユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ温度イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ温度ユニット装置	イベントおよび定期的監視
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)		
	接続ステータス	イベントおよび定期的監視
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)		
	管理ステータス	イベントおよび定期的監視
	接続ステータス	イベントおよび定期的監視
	リンクステータス	イベントおよび定期的監視

オブジェクト	ユニット監視
動作ステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)	
チーミングされたネットワークインタフェース (ベーシック) 可用性ステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)	
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 管理ステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 接続ステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) リンクステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 動作ステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 冗長ステータス	イベントおよび定期的監視
ファンセンサー	
ファンセンサーユニット監視	定期的
電流センサー	
電流センサーユニット監視	定期的
電圧センサー	
電圧センサーユニット監視	定期的
バッテリーセンサー	
バッテリーセンサーユニット監視	定期的
シャーシントルージョンセンサー	
シャーシントルージョンセンサーユニット監視	定期的

ルール

次の項には、Dell エージェントベース監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell Server Management Pack Suite は、Server Administrator および Server Administrator Storage Management イベントからのルールを処理します。

サーバーシステム管理者

Server Administrator のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- イベント ID = Server Administrator 計装イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

ストレージ管理

Server Administrator Storage Management Service のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- Event ID (イベント ID) = Server Administrator Storage Management Service イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

パフォーマンスコレクションルール


OpsMgr コンソールで、**監視** → **Dell** → **パフォーマンスおよび電源監視ビュー** をクリックして、Dell サーバーから収集されたパフォーマンス情報を表示します。この機能は、デフォルトでは無効になっており、機能の有効化については、[パフォーマンスコレクションルールの有効化](#)を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールは、以下のパラメータについての情報を収集します。

- エージェントベースのディスクパフォーマンス (%)
- 環境温度 (セ氏)
- アンペア数 (アンペア)
- エネルギー消費量 (kWh)
- ピークアンペア数 (アンペア)
- ピーク電力 (ワット)
- 物理ネットワークインタフェース
- 電力消費量 (BTU/時)
- 電力消費量 (ワット)
- チューニングされたネットワークインタフェース

メモ:

- エージェントベース監視機能の詳細エディションをインポートすると、無効のパフォーマンス（ネットワークパフォーマンスを除く）およびエージェントベースのディスクパフォーマンス（%）コレクションルールがデフォルトで有効になります。
- **エージェントベースのディスクパフォーマンス（%）** – このビューには Dell サーバー（エージェントベース）のソリッドステートドライブ（SSD）の **残存する定格書き込み耐久性** が表示されます。このデータを表示するには、オブジェクトの **SSD** を検索してください。

 **メモ:** ネットワーク統計は、エージェントベース監視機能の詳細エディションのみで定義されており、デフォルトで無効になっています。この機能を有効化するには、[パフォーマンスコレクションルールの有効化](#)を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールの有効化

この機能を有効にするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **ルール** をクリックし、**次を検索**：フィールドで **エンリッチ** を検索します。
3. 有効にするルールを右クリックします。
例えば、すべての Dell システムのネットワークインタフェースの情報を収集するには、下記のルールに対して手順 4~5 を実行します。
 - 送信されたパケットの総数
 - 受信されたバイト数
 - 受信されたパケット総数
 - 送信されたバイト数
4. **上書き** → **ルールの上書き** → **クラスの全オブジェクト** と選択します。
5. **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
6. **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択**：ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択し、または **新規...** をクリックして新しい管理パックを作成します。
新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。
 - a. **新規...** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
 - b. **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
 - c. **作成** をクリックします
宛先の管理パックの選択：ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
7. **適用** をクリックします。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

Dell タスクの実行

次の表では、OpsMgr 上で実行できる Dell タスクの概要を説明します。

表 9. Dell タスク


タスク	説明
電源ステータスのチェック	システムの全体的な電源ステータスを確認します。
ESM ログのクリア	選択したシステムの Embedded System Management (ESM) ログの内容をバックアップし、ESM ログファイルをクリアします。
強制電源オフ	オペレーティングシステムをシャットダウンせずに、システムの電源をオフにします。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。  メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。
X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動	64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動します。
Dell OpenManage Power Center の起動	管理サーバー上で Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。
Dell Remote Access Console の起動	エージェントベースで検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。
OpenManage Server Administrator の起動	OpenManage Server Administrator を起動します。
Remote Desktop の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。
パワーサイクル	電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入します。
正常電源オフ	最初にオペレーティングシステムをシャットダウンしてから、システムの電源をオフにします。
電源オン	システムの電源をオンにします。このオプションは、システムがオフ場合にのみ使用可能です。
電源リセット	システム電源をオフにしてから、再度オンにします。
LED 識別表示オン	選択したシステムの識別 LED を 255 秒間オンにします。

タスク	説明
LED 識別表示オフ	選択したシステムの識別 LED をオフにします。

Dell Windows サーバータスク

電源ステータスのチェック

電源ステータスをチェックして、IPMI シェルを介した電源制御タスクを許可します。

 **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、BMU (Baseboard Management Controller Management Utility) をデフォルトパスにインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成についての詳細は、[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)を参照して下さい。

システムの電源ステータスをチェックするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **電源ステータスのチェック** と選択します。

ESM ログのクリア

ハードウェアログとも呼ばれる Server Administrator Embedded Server Management (ESM) ログは、エラー修正コード (ECC)、システムのリセットと起動、およびブローブしきい値の変更など、ハードウェアによって生成されるすべてのシステムイベントのリストを維持します。ハードウェアエラーが表示されたときやシステムが正しく機能しないときなどに、このログを参照できます。


ESM ログのクリア タスクを行うには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **ESM ログのクリア** を選択します。
タスクの実行 ウィンドウが表示されます。
4. **実行** をクリックして、選択したデバイスの ESM ログをクリアします。

ESM ログのクリア タスクを実行すると、タスク実行画面には、開始しているタスクの結果のみが表示されます。例えば、ESM ログがクリアされていない場合でも、タスク実行画面には、成功したという結果が表示されることがあります。これは、**ESM ログのクリア** タスクの開始が成功したことを表しています。

強制電源オフ

強制電源オフ タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンせずに Dell サーバーの電源をオフにすることができます。


 **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

システムの電源を切るには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で **Dell Windows サーバータスク** → **強制電源オフ** と選択します。

保証情報の取得

保証情報の取得 タスクでは、選択した Dell サーバーの保証ステータスを表示することができます。


 **メモ:** 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **保証情報の取得** と選択します。

X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動


X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動 タスクでは、64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動することができます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンス用の 1 対多ライセンス展開および報告ツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、[License Manager 起動タスクの作成](#)を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **X64 ビット管理サーバーで Dell License Manager を起動** と選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

 **メモ:** OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

Dell OpenManage Power Center の起動 タスクでは、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

Dell OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Dell OpenManage Power Center の起動** と選択します。

Dell Remote Access Console の起動


Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

Dell OpenManage Server Administrator の起動

Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Server Administrator の起動** と選択します。

 **メモ:** Dell Server Management Pack Suite タスクが Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop の起動


Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **リモートデスクトップの起動** を選択します。

 **メモ:** リモートデスクトップの起動は、管理下ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

パワーサイクル

パワーサイクル タスクでは、Dell サーバーの電源をオフにした後、間隔をおいて電源オンにすることができます。


 **メモ:** **アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#) を参照して下さい。

パワーサイクルを行うには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **パワーサイクル** と選択します。

正常電源オフ

正常電源オフ タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンして Dell サーバーの電源をオフにすることができます。


-  **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

システムの電源を正常に切るには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **正常電源オフ** と選択します。

電源オン

電源オン タスクでは、サーバーの電源をオンにすることができます。このオプションは、システムの電源がオフになっている場合でも使用可能です。


-  **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

システムの電源をオンにするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **電源オン** と選択します。

電源リセット

電源リセット タスクでは、Dell サーバーの電源をオフにしてから電源をオンにすることができます。


-  **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

システムの電源をリセットするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **電源リセット** と選択します。

LED 識別表示オン

LED 識別表示オン タスクでは、選択した Dell サーバー上の LED 識別表示をオンにすることができます。


-  **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

LED 識別表示をオンにするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク → LED 識別表示をオンにする** と選択します。

LED 識別表示オフ

LED 識別表示オフ タスクでは、選択した Dell サーバー上の LED 識別表示をオフにすることができます。


 **メモ:** **アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#) を参照して下さい。

LED 識別表示をオフにするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク → LED 識別表示をオフにする** と選択します。

レポート

レポート機能では、Dell OpenManage Windows イベントログ、Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 設定についてのレポートを作成できます。

 **メモ:**

- エージェントベースの監視機能は、オブジェクトレベルのみのレポートをサポートしています。
- Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 設定のレポートは、サーバー（エージェントベース）管理パックの詳細エディションのみで使用可能です。

レポートへのアクセス

レポートにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **レポート** をクリックします。
2. Windows イベントログの場合は **Dell Windows サーバー（拡張可能エディション）** をクリックし、BIOS、ファームウェア、およびドライバのバージョン、RAID のレポートの場合は **Dell Windows サーバー（詳細エディション）** をクリックします。

また、サーバーインスタンスをクリックすることによって、**ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** から **レポート** にアクセスすることもできます。**Dell レポート** のオプションは、デフォルトの Microsoft レポートと共に Dell システムインスタンス下の **タスク ペイン** にあります。

OpenManage Windows イベントログレポートの生成

OpenManage Windows イベントログのレポートを生成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. **Dell Windows Server（拡張可能エディション）** をクリックします。

3. **OpenManage Windows イベントログ** をクリックして、**タスク ペインの 開く** をクリックします。
4. 生成するレポートの対象期間を選択します。
5. **オブジェクトの追加** をクリックします。
6. Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7. 生成するレポートの対象となるイベントの **重要度** を選択します。
8. **実行** をクリックします。
OpenManage Windows イベントログ レポートが生成されます。

BIOS 設定レポートの生成

BIOS 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。
3. **BIOS 設定** をクリックして、**タスク ペインの 開く** をクリックします。
4. 生成するレポートの対象期間を選択します。
5. **オブジェクトの追加** をクリックします。
6. Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7. 必要とする **プロパティ** を選択します。
8. **実行** をクリックします。
BIOS 設定 レポートが生成されます。

ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成

ファームウェアおよびドライババージョンのレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。
3. **ファームウェアとドライババージョン** をクリックし、**タスク ペインで 開く** をクリックします。
4. 生成するレポートの対象期間を選択します。
5. **オブジェクトの追加** をクリックします。
6. Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7. **実行** をクリックします。
ファームウェアとドライババージョン のレポートが生成されます。

RAID 設定レポートの生成

RAID 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. **Dell Windows サーバー (詳細エディション)** をクリックします。
3. **RAID 設定** をクリックして、**タスク ペインの 開く** をクリックします。
4. 生成するレポートの対象期間を選択します。

5. **オブジェクトの追加** をクリックします。
6. Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7. 必要とする **プロパティ** を選択します。
8. **実行** をクリックします。
RAID 設定 レポートが生成されます。

エージェントフリーの監視機能

エージェントフリーの監視機能は、WS-MAN および SNMP を使用することによって、第 12 世代と第 13 世代の Dell PowerEdge サーバー、Dell PowerVault システム、サポートされている Dell Precision ラック、Dell ブランドの OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバーの詳細インベントリと監視を、サーバーの iDRAC 経由で提供します。

前提条件を満たす場合、Dell Server Management Pack Suite インストーラは、エージェントフリーの監視機能を自動的にインポートします。

拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較

次の表は、拡張可能エディションおよび詳細エディション機能を使用することができる環境の理解に役立ちます。

表 10. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
エージェントフリー監視機能	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントレベルでのインベントリ。 サーバー、ラック型ワークステーション、およびコンポーネントグループレベルでの正常性監視。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。 電源、温度のメトリックス、およびネットワークインタフェースカード、プロセッサ、メモリ、CUPS (1 秒あたりの使用率の計算)、PCIe SSD 摩耗率、および IO パフォーマンスメトリックの表示。

検出とグループ化

Dell Server Management Pack Suite は、Dell サーバーの検出および分類を可能にします。

次の表は、Dell エージェントフリー監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 11. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell サーバー	Dell モノリシックサーバー	Dell PowerEdge システム
	Dell モジュールサーバー	Dell PowerVault ストレージサーバー


グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
	Dell Sled グループ	
Dell ラック型ワークステーション	ラック型ワークステーションダイアグラム	Dell Precision ラック

エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバーの検出

 **メモ:** エージェントフリー監視機能を使用して Dell サーバーを検出する前に、Microsoft SMASH ライブラリ (MPB) ファイルをインストールします。Microsoft SMASH ライブラリ (MPB) ファイルの詳細に関しては、dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement にある『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.2 インストールガイド』の「WS-Management と SMASH デバイステンプレートのインストール」を参照してください。

エージェントフリー監視機能を使用して Dell サーバーを検出するには、次の手順を行います。

1. OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr 2012 にログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部で **監視の追加ウィザード** をクリックします。
監視の追加ウィザード 画面が表示されます。
4. **監視タイプの選択** 画面で、**WS-Management と SMASH デバイス検出** を選択して、**次へ** をクリックします。
5. **一般プロパティ** 画面の **名前** フィールドに、ウィザードの名前を入力します。
6. **管理パック** で、**新規** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
7. **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
8. **作成** をクリックします。
管理パック ドロップダウンボックスで、作成された管理パックが選択されています。
9. **次へ** をクリックします。
10. **ターゲットの指定** ドロップダウンメニューで、エージェントフリーデバイスの監視のためのリソースプールを選択して、**次へ** をクリックします。
11. **検出の実行のために使用されるアカウントの指定** 画面で **新規** をクリックし、シンプル認証の Run As アカウントを作成します。
シンプル認証タイプの Run As アカウントの作成の詳細については、「[シンプル認証 Run As アカウントの作成](#)」を参照してください。

 **メモ:** iDRAC 用に AD ドメイン資格情報を使用している場合は、username@domainname.com というフォーマットで資格情報を入力してください。

12. **Run As アカウント** ドロップダウンメニューから作成した Run As アカウントを選択して、**次へ** をクリックします。
13. **追加** をクリックします。
14. **デバイスの追加** 画面で、エージェントフリー監視機能を使用して監視するシステムの iDRAC IP アドレスを指定します。システムの iDRAC IP アドレスは次の方法で指定できます。
 - 提供した **IP サブネット** をスキャンする。
 - 指定された **IP 範囲** をスキャンする。


- iDRAC IP アドレスのリストを含むテキストファイルをインポートする。
15. **詳細オプション** をクリックし、**CA チェックを省略** および **CN チェックを省略** オプションを選択して、**OK** をクリックします。
 16. **デバイスのスキャン** をクリックして、ネットワーク上の Dell サーバーを検索します。
IP アドレスが **使用可能デバイス** にリストされます。
 17. **追加** をクリックして、監視する IP アドレスのリストを追加し、**OK** をクリックします。
 18. **監視するデバイスの指定** 画面で、**作成** をクリックします。
 19. **閉じる** をクリックします。
スキャンされた Dell サーバーは当初**監視** → **WS-Management** と **SMASH 監視** → **WS-Management デバイス状態**画面に表示されます。自動でトリガされた SMASH 検出が OpsMgr によって完了すると、Dell サーバーが**監視** → **WS-Management** と **SMASH 監視** → **SMASH デバイス状態**画面に表示されま
す。
 20. **Feature Management Dashboard** から、エージェントフリー監視機能を有効にします。

Automatic trap destination configuration

SNMP トラップを受信するため、エージェントフリー監視機能は、Dell サーバーの検出中に、管理サーバーの IP アドレスを iDRAC 上のトラップ先として自動的に設定します。**状態** オプションを選択して iDRAC でのアラート先が有効になっていることを確認してください。

Dell エージェントフリー監視機能による検出

表 12. Dell エージェントフリー監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
Dell サーバー検出	Dell サーバーを分類し、重要な属性およびコンポーネントにデータを投入します
Dell Device Helper 検出	DellDeviceHelper をオブジェクトとして検出します。
Dell ホスト NIC 関連検出	ホスト NIC インタフェースと物理インターフェイスを関連させます。  メモ: チューニングされたネットワークインタフェースは、チーム内の NIC を 1 つだけ表示します。

監視

Dell Server Management Pack Suite のインストール後、OpsMgr の **監視** ペインを使用して検出された Dell サーバーの正常性情報を表示するビューを選択することができます。エージェントフリー監視機能は、Dell サーバーの正常性を検出および監視します。

[重要度レベルインジケータ](#) は、ネットワーク上の Dell サーバーの正常性を示します。これには、Dell モジュラーシステム、モノリシックシステム、およびサポートされている Dell Precision ラックとそれらのコンポーネントの正常性の定期的な監視が含まれています。

エージェントベース監視機能およびエージェントフリー監視機能によって監視されるシステムコンポーネントはまったく同じではないため、エージェントベース（OMSA）およびエージェントフリー（iDRAC）メソッドで表示されたサーバー全般の正常性が異なる場合があります。そのような相違が確認された時は、特定のコンポーネントステータスにドリルダウンしてシステムコンポーネントの特定の問題状態を解決し、サーバー全般の正常性を **OK** 状態に戻します。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 13. 監視対象ハードウェアコンポーネント – 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
BIOS	いいえ	いいえ
バッテリーセンサー	いいえ	はい
バッテリーセンサーグループ	いいえ	はい
電流センサー	いいえ	はい
電流センサーグループ	いいえ	はい
ファンセンサー	いいえ	はい
ファンセンサーグループ	いいえ	はい
ホスト NIC	いいえ	はい
iDRAC ネットワークインタフェース	いいえ	はい
iDRAC	いいえ	いいえ
インテルージョンセンサー	いいえ	はい
インテルージョンセンサーグループ	いいえ	はい
ライセンスグループ	はい	いいえ
ライセンス	いいえ	はい
メモリ	いいえ	いいえ
メモリユニットインスタンス	いいえ	いいえ
物理ネットワークインタフェース	いいえ	はい
プロセッサ	はい	いいえ

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
プロセッサグループ	はい	いいえ
電源装置	いいえ	はい
PCIe SSD エクステンダ	いいえ	はい
PCIe SSD バックプレーン	いいえ	はい
PCIeSSD 物理ディスク	いいえ	はい
サーバーセンサー	いいえ	はい
ストレージコントローラコネクタ	いいえ	はい
ストレージコントローラ	いいえ	はい
ストレージコントローラセンサー	いいえ	はい
ストレージコントローラバッテリーグループ	いいえ	はい
ストレージコントローラバッテリー	いいえ	はい
ストレージ仮想ディスクグループ	いいえ	はい
ストレージ仮想ディスク	いいえ	はい
ストレージコントローラ物理ディスクグループ	いいえ	はい
ストレージコントローラ物理ディスク	いいえ	はい
ストレージコントローラエンクロージャ	いいえ	はい
ストレージコントローラエンクロージャ EMM	いいえ	はい
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー	いいえ	はい
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサーグループ	いいえ	はい
ストレージコントローラエンクロージャ電源装置	いいえ	はい

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
ストレージコントローラエンクロージャ電源装置グループ	いいえ	はい
ストレージコントローラエンクロージャ温度センサーグループ	いいえ	はい
ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー	いいえ	はい
ストレージコントローラエンクロージャセンサー	いいえ	はい
SD カードグループ	いいえ	はい
SD カード	いいえ	はい
サーバーホスト NIC グループ	いいえ	はい
サーバーホスト NIC	いいえ	いいえ
温度センサー	いいえ	はい
温度センサーグループ	いいえ	はい
電圧センサー	いいえ	はい
電圧センサーグループ	いいえ	はい

ビュー

Dell Server Management Pack Suite では、OpsMgr コンソールの **Dell** フォルダーに、以下の種類のビューを提供します。

- [アラートビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状態ビュー](#)
- [パフォーマンスおよび電源監視ビュー](#)

アラートビュー

このビューは、Dell サーバとラック型ワークステーションからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。エージェントフリー監視機能により、次のアラートとトラップが表示されます。

- Dell PowerEdge、PowerVault システム、および Dell Precision ラックの Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受け取ったイベントに対するリンクアップまたはリンクダウンアラート。
- Dell サーバーおよびラック型ワークステーションに対するプラットフォームイベントトラップ (PET)。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでエージェントフリー監視機能のアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
2. **Dell** → **アラートビュー** とクリックします。
次の **アラートビュー** が表示されます。
 - **サーバーおよびラック型ワークステーションアラート**：iDRAC7 または iDRAC8 装備の第 12 および 13 世代の Dell PowerEdge サーバー、PowerVault ストレージサーバー、および Dell Precision ラックの SNMP トラップが表示されます。
 - **Dell ラック型ワークステーションのアラートビュー**
 - **ラック型ワークステーションのアラート**
3. **サーバーおよびラック型ワークステーションのアラート** または **ラック型ワークステーションのアラート** を選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
4. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、ネットワーク上のすべての Dell サーバーおよび対応ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムビューの表示

OpsMgr コンソールでサーバー帯域内ダイアグラムビューを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** → **Dell** → **ダイアグラムビュー** とクリックします。
2. 次のビューについては、**ダイアグラムビュー** に移動します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - [モジュラーシステムダイアグラム](#)
 - [モノリシックサーバーダイアグラム](#)
3. 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

ラック型ワークステーションダイアグラム

Dell ラックワークステーションダイアグラムビュー には、すべての対応ラック型ワークステーションの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスおよびコンポーネントを展開してステータスを確認することができます。ダイアグラムのラックワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインにその詳細を表示してください。

モジュラーおよびモノリシックシステム

モジュラーシステムダイアグラム および **モノリシックサーバーダイアグラム** ビューには、次の詳細情報が表示されます。

- 物理ネットワークインターフェース
- メモリ
- 電源装置

- センサー
- プロセッサ
- ストレージコンポーネント
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC NIC
- ホスト NIC
- SD カード
- ライセンス

モジュラーシステムダイアグラム

Dell モジュラーシステムのダイアグラムビュー は、すべての Dell モジュラーシステムのグラフィック描写が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

モノリシックサーバーダイアグラム

Dell モノリシックシステムのダイアグラムビュー では、すべての Dell モノリシックシステムが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Sled サーバーダイアグラム

Dell Sled サーバーダイアグラムビューには、すべての Dell Sled サーバーの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスおよびコンポーネントを展開してステータスを確認することができます。ダイアグラムの Sled サーバーを選択して、**詳細ビュー** ペインにその詳細を表示します。

Dell サーバーインスタンスダイアグラム

Dell サーバーを選択し、**Dell モジュラーシステム** または **Dell モノリシックシステムのダイアグラム** ビューから、その特定システムに固有のダイアグラムを表示します。

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- 物理インタフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- ストレージコンポーネント
- ホスト NIC
- ライセンス
- PCIe/ SSD
- SD カード
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC NIC


ストレージコントローラのコンポーネント階層

物理ディスク、コネクタ、仮想ディスク、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントの状態と正常性を表示するには、任意の Dell システムインスタンスダイアグラムビューで **ストレージ** コンポーネントを展開します。

パフォーマンスおよび電源監視ビュー

パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** → **パフォーマンスおよび電源監視** をクリックして、以下のビューを表示します。
 - エージェントフリーのディスクパフォーマンス (%)
 - Dell パフォーマンスビュー
 - システム基板の使用率
 - CPU 使用率 (%)
 - IO 使用率 (%)
 - メモリ使用率 (%)
 - システム全体の使用率 (%)

 **メモ:** エージェントフリー監視機能では、すべてのパフォーマンスメトリックルールがデフォルトで無効になっています。

3. 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。
収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、それがしきい値を超過するかどうかをチェックします。しきい値を超過すると、サーバーが状態を変更してアラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、OpsMgr コンソールの **オーサリング** ペインから上書き (有効化) することができます。ユニット監視は、エージェントフリーの監視機能のための **Dell サーバー** オブジェクトで使用できます。ユニット監視のしきい値を有効にするには、「[パフォーマンスおよび電源監視ユニット監視の有効化](#)」を参照してください。

パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、「[パフォーマンスコレクションルール](#)」を参照してください。

パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化

パフォーマンスおよび電源監視ビューのユニット監視を有効にするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **管理パックオブジェクト** → **監視** をクリックし、**次を検索:** フィールドで **パフォーマンス** を検索します。
3. **Dell サーバー** → **パフォーマンス** をクリックします。
4. 有効にしたいユニット監視を右クリックします。
5. **上書き** → **監視の上書き** と選択し、要件に応じてオプションを選択します。
例えば、クラス: Dell サーバーのすべてのオブジェクトに対するユニット監視を上書きするには、**クラス: Dell サーバーの全オブジェクト** を選択します。

上書きプロパティ画面が表示されます。

6. **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
7. **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択:** ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択し、または **新規...** をクリックして管理パックを作成します。
新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。
 - a. **新規...** をクリックします。

- 管理パックの作成 画面が表示されます。
- b. **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
 - c. **作成** をクリックします
宛先の管理パックの選択：ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
8. **適用** をクリックします。

状態ビュー

このビューは、すべての Dell サーバーと対応ラック型ワークステーションの正常性を表示するために使用できます。OpsMgr コンソールで、**監視** → **Dell** → **状態ビュー** をクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理されている各 Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの状態が表示されます。

次のグループのステータスを表示することができます。

- **サーバーおよびラック型ワークステーション (エージェントフリー)**
- **Dell ラック型ワークステーションの状態ビュー**
 - 管理対象ラック型ワークステーション (エージェントフリー)
- **Dell サーバー状態ビュー**
 - FM サーバー
 - Sled Server (エージェントフリー)
 - 管理対象外サーバー (エージェントフリー)

コンポーネントの正常性は、そのコンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。[重要度レベルインジケータ](#)では、Dell Server Management Pack Suite がそれらの対応重要度レベルと共に使用する各種状況コンポーネントについて説明します。

エージェントフリー監視機能のための Dell ユニット監視

エージェントフリー監視対象オブジェクトで発生する可能性があるさまざまな状況を評価するための監視です。

表 14. エージェントフリー監視機能のための Dell ユニット監視

Object (オブジェクト)	ユニット監視
Dell サーバー	
Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell サーバー電源装置	
Dell サーバー電源装置ユニット	定期的

Object (オブジェクト)	ユニット監視
Dell サーバープロセッサグループ	
	Dell サーバープロセッサグループ
	定期的
Dell ストレージコントローラ	
	Dell サーバーストレージコントローラ
	定期的
Dell サーバーコントローラバッテリー	
	Dell サーバーコントローラバッテリーユニット
	定期的
Dell バッテリセンサー	
	Dell サーバーバッテリーセンサーの正常性
	定期的
Dell バッテリセンサーグループ	
	Dell サーバーバッテリーグループセンサーの正常性
	定期的
Dell 電流センサー	
	Dell サーバー電流センサーの正常性
	定期的
Dell ファンセンサー	
	Dell サーバーファンセンサーの正常性
	定期的
Dell ファンセンサーグループ	
	Dell サーバーファングループセンサーの正常性
	定期的
Dell インテリジェンセンサー	
	Dell サーバーインテリジェンセンサーの正常性
	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー (オペレーティングシステムあり)	
	Dell サーバー Run As アカウント関連
	定期的
	Dell サーバーユニット監視
	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー (オペレーティングシステムなし)	
	Dell サーバー Run As アカウント関連
	定期的

Object (オブジェクト)		ユニット監視
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モノリシックサーバー (オペレーティングシステムあり)		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モノリシックサーバー (オペレーティングシステムなし)		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell ネットワークインタフェースグループ		
	Dell サーバーネットワークインタフェースグループ	定期的
Dell iDRAC ネットワークインタフェース		
	Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェースユニット	定期的
Dell サーバーホスト NIC		
	Dell サーバーホスト NIC	定期的
Dell サーバーライセンス		
	Dell サーバーライセンス	定期的
Dell サーバーライセンスグループ		
	Dell サーバーライセンスグループ	定期的
物理ネットワークインタフェース		
	Dell サーバーネットワークインタフェースユニット	定期的
PCIe SSD バックプレーン		
	Dell サーバー PCIe SSD バックプレーン	定期的
PCIe SSD エクステンダ		
	Dell サーバー PCIe SSD エクステンダ	定期的

Object (オブジェクト)	ユニット監視
PCIe SSD 物理ディスク	
Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクの予測障害ディスク	定期的
Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクのプライマリステータス	定期的
Dell サーバー SD カード	
Dell サーバー SD カード	定期的
Dell サーバー SD カードグループ	定期的
Dell サーバーコネクタエンクロージャ	
Dell サーバーコネクタエンクロージャ	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ EMM	
Dell サーバーエンクロージャ EMM	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー	
Dell サーバーエンクロージャファンセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ物理ディスク	
Dell サーバーエンクロージャ外部物理ディスク	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ電源装置	
Dell サーバーエンクロージャ電源装置	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー	
Dell サーバー温度センサー	定期的
Dell ストレージコントローラ内部物理ディスク	
Dell サーバー内部物理ディスクユニット	定期的
Dell ストレージコントローラ物理ディスク	
Dell サーバーコントローラダイレクトアタッチド物理ディスク	定期的

Object (オブジェクト)	ユニット監視
Dell ストレージグループ	
Dell サーバーストレージ	定期的
Dell ストレージ仮想ディスク	
Dell サーバーコントローラ仮想ディスクユニット	定期的
Dell 温度センサー	
Dell サーバー温度センサーの正常性	定期的
Dell 温度センサーグループ	
Dell サーバー温度センサグループの正常性	定期的
Dell 電圧センサー	
Dell サーバー電圧センサーの正常性	定期的
Dell 電圧センサーグループ	
Dell サーバーセンサー電圧グループ	定期的

ルール

次の項には、Dell エージェントフリー監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell Server Management Pack Suite は、Dell サーバーからのルールを処理します。

Dell サーバー

Dell エージェントフリー監視機能を使用して検出された Dell サーバーに対するすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「Dell サーバー IP」
- OID = トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップイベントプロバイダ

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。


タスクサマリ

Dell エージェントフリー監視機能を使用した Dell タスクの実行

次の表は、Dell サーバーエージェントフリー監視機能を使用して実行することができる Dell タスクのサマリです。

表 15. Dell エージェントフリー監視機能を使用した Dell タスク

タスク	説明
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。  メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。  メモ: Dell License Manager の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムがインストールされており、Dell License Manager もインストールされている場合にのみ可能です。
Dell OpenManage Power Center の起動	選択したシステムの Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。  メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステム、OpenManage Server Administrator、および Dell OpenManage Power Center がインストールされている場合にのみ可能です。
Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバー) の起動	選択したシステム向けの Dell OpenManage Server Administrator コンソールを起動します。  メモ: Dell OpenManage Server Administrator の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと Dell OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

タスク	説明
Dell Remote Access Console の起動	エージェントフリー機能で検出された Dell サーバーおよびラック型ワークステーションのための iDRAC コンソールを起動します。
Remote Desktop (モノリシックサーバー) の起動	<p>選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。</p> <p> メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下ノードに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。</p>

Dell サーバータスク


保証情報の取得

このタスクを使用して、選択したサーバーの保証ステータスを確認できます。
保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン** で、**Dell サーバータスク** → **保証情報の取得** と選択します。

Dell License Manager の起動

Dell License Manager の起動 タスクで、管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスの 1 対多のライセンス展開およびレポートを行うツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、[License Manager 起動タスクの作成](#)を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン** で、**Dell Windows サーバータスク** → **Dell License Manager の起動** と選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

このタスクを使用して、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。
Dell OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン** で、**Dell Windows サーバータスク** → **Dell OpenManage Power Center の起動** と選択します。

Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバー) の起動

 **メモ:** OpenManage Server Administrator の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

OpsMgr コンソールから Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバー) の起動** と選択します。


 **メモ:** Dell Server Management Pack Suite タスクが Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。


Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

リモートデスクトップの起動 (モノリシックサーバー)

 **メモ:** リモートデスクトップの起動は、管理下システムに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。

 **メモ:** リモートデスクトップタスクは、ホスト名を使用してシステムの管理サーバーに接続します。管理サーバーがホスト名を解決できない場合は、管理サーバーで設定されているホスト名を使用して、サーバーへのルートにホスト名と IP アドレスを追加します。

OpsMgr コンソールからリモートデスクトップを起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **リモートデスクトップの起動 (モノリシックサーバー)** を選択します。

DRAC 監視機能

DRAC 監視機能は、SNMP を使用したさまざまな世代の iDRAC (iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 システム) の検出と監視をサポートします。

検出とグループ化

Dell Server Management Pack Suite では、Dell Remote Access Controllers (DRAC)、および統合 DRAC (iDRAC) の検出と分類が可能です。

次の表は、Dell DRAC 監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 16. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell Remote Access Controller	Remote Access Controller グループ	iDRAC モジュール、および iDRAC モノリシックインスタンス。  メモ: DRAC 監視機能は、xx0x iDRAC モジュールコントローラの検出をサポートしません。これらのデバイスは、エージェントベース監視機能の拡張可能エディションを使用して管理することができます。

DRAC デバイスの検出

DRAC デバイスは、OpsMgr コンソールの **管理** セクションでネットワークデバイスとして検出される必要があります。

DRAC デバイスを検出するには、次の手順を行います。

1. OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4. **検出ウィザード** を実行し、**ネットワークデバイス** を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
5. OpsMgr 2012 の **デバイスコンソールの追加** 画面でスキャンする IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 の **Run As アカウント** ドロップダウンボックスから適切な **Run As アカウント** を選択します。
6. **Feature Management Dashboard** を使用して DRAC 監視機能を有効にします。

OpsMgr 2012 のための拡張性の推奨

分散型セットアップにおける多数ネットワークデバイスの管理時に、同じ管理グループがエージェントベースのデバイスの管理にも使用されている場合は、デバイスタイプごとに管理サーバーの専用リソースプールを使用してください。


DRAC 監視機能による検出

表 17. DRAC 監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
iDRAC 検出	サポートされているすべての Integrated Dell Remote Access Controller を検出します。
Dell Integrated Remote Access モジュラー検出	モジュラーシステム用 Dell Integrated Remote Access Controller のシャーシ名とシャーシサービスタグを検出します。
iDRAC6 モジュラー検出	iDRAC6 (モジュラー) グループを検出します。
iDRAC6 モノリシック検出	iDRAC6 (モノリシック) グループを検出します。
iDRAC7 モジュラー検出	iDRAC7 (モジュラー) グループを検出します。
iDRAC7 モノリシック検出	iDRAC7 (モノリシック) グループを検出します。
iDRAC8 モジュラー検出	iDRAC8 (モジュラー) グループを検出します。
iDRAC8 モノリシック検出	iDRAC8 (モノリシック) グループを検出します。
Dell Remote Access グループ検出	Dell Remote Access グループを検出し、iDRAC にデータ投入します。
Dell Integrated Remote Access モノリシックグループ検出	Dell Integrated Remote Access モノリシックグループと iDRAC (モノリシック) を検出します。
Dell Integrated Remote Access モジュラーグループ検出	iDRAC (モジュラー) グループを検出してデータ投入します。

監視

Dell Server Management Pack Suite をインストールした後は、OpsMgr の **監視** ペインを使用して、検出された Dell DRAC デバイスの正常性情報をすべて表示するビューを選択できます。DRAC 監視機能は、Dell DRAC デバイスの正常性を検出および監視します。この機能では、一定の間隔またはイベントの発生時の両方で Dell DRAC デバイスの正常性を監視します。[重要度レベルインジケータ](#)は、ネットワーク上の Dell DRAC デバイスの正常性を示します。

-  **メモ:** DRAC デバイスの正常性を監視するには、SNMP 監視アカウント付きのコミュニティ文字列の Run As アカウントを、Dell Remote Access Controller クラスまたは各 DRAC オブジェクト（異なる DRAC デバイスで異なる Run As アカウントがある場合）に関連付けます。

アラートビュー

このビューは、Dell DRAC デバイスからのハードウェアイベントとストレージイベントの管理に使用することができます。DRAC デバイスによって送信された SNMP トラップおよびプラットフォームイベントトラップ (PET) が DRAC 監視機能によって表示されます。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールで DRAC アラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
2. **Dell** → **アラートビュー** とクリックします。
次の **アラートビュー** が表示されます。
 - **PET トラップ** - これらのアラートには iDRAC6、iDRAC7 および iDRAC8 デバイスからの PET トラップに関する情報が含まれています。
 - **リモートアクセスアラート** - これらのアラートには、iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスからの SNMP トラップに関する情報が含まれています。
3. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、お使いのネットワーク上にあるすべての Dell DRAC デバイスの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムの表示

OpsMgr コンソールで DRAC 監視機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**監視** → **Dell** → **ダイアグラムビュー** とクリックします。
2. 左側の **監視** ペインで **ダイアグラムビュー** フォルダに移動して、次のビューを表示します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - [Remote Access Controller グループ](#)
3. 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Remote Access Controller グループ

Remote Access Controller グループ ダイアグラムビューは、すべての iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスを図示します。ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインにそのデバイスの詳細を表示します。

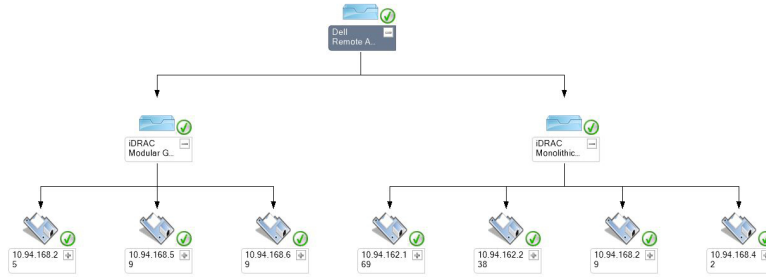


図 3. Remote Access Controller グループダイアグラム

状態ビュー


このビューは、Dell DRAC デバイスの正常性を表示するために使用することができます。OpsMgr コンソールで、**監視** → **Dell** → **状態ビュー** → **DRAC** とクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理される各 Dell デバイスのステータスが表示されます。


コンポーネントの正常性は、そのコンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。[重要度レベルインジケータ](#)では、Dell Server Management Pack Suite がそれらの対応重要度レベルと共に使用する各種状況コンポーネントについて説明します。

DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

DRAC 監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 18. DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト	ユニット監視
iDRAC6 モジュラー	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC6 モノリシック	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC7 Modular (iDRAC7 モジュラー)	
 メモ: iDRAC7 モジュラーおよびモノリシックサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視

オブジェクト	ユニット監視
コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC7 Monolithic (iDRAC7 モノリシック)	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC8 モジュール	
 メモ: iDRAC8 モジュールおよびモノリシックサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC8 モノリシック	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視

ルール

次の項には、Dell DRAC 監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell Server Management Pack Suite は、DRAC トラップからのルールを処理します。


DRAC デバイス

DRAC デバイス向けのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「DRAC/CMC 名または ip」

- OID = DRAC /CMC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップ

 **メモ:** 情報アラートはデフォルトでオフになっています。これらのアラートを受け取るには、情報アラート管理パックをインポートします。

タスク



タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

DRAC を使用した Dell タスクの実行

次の表に、DRAC を使用して実行される Dell タスクの概要を示します。


表 19. DRAC を使用した Dell タスク

タスク	説明
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。
Dell Remote Access Console の起動	検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。
Remote Desktop の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。  メモ: この機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 装備のシステムでのみ使用可能です。
Server Administrator の起動	Server Administrator が起動されます。  メモ: <ul style="list-style-type: none"> • Server Administrator コンソールは、デフォルトポートで Server Administrator が設定されている場合にのみ起動されます。 • この機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 装備のシステムでのみ使用可能です。

Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク

Dell License Manager の起動

Dell License Manager の起動 タスクで、管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスの 1 対多のライセンス展開およびレポートを行うツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager の起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** と移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell License Manager の起動** と選択します。

Dell Remote Access Console の起動

Dell システムに DRAC が搭載されている場合は、このタスクを使用して Dell Remote Access Console を起動することができます。

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

Remote Desktop の起動

メモ:

- Remote Desktop 機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 搭載のシステムのみで使用可能です。
- Remote Desktop の起動は、管理ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** と移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Remote Access Controller タスク** → **リモートデスクトップの起動** と選択します。

Server Administrator の起動

メモ:

- Dell Server Administrator コンソールは、デフォルトポートで Server Administrator が設定されている場合にのみ起動されます。
- Dell Server Administrator 機能は、iDRAC7、および iDRAC8 搭載のシステムのみで使用可能です。

Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** と移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** でアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Server Administrator の起動** と選択します。

シャーシ監視機能

シャーシ監視機能は、SNMP および WS-MAN を使用して、Dell PowerEdge FX2/FX2s シャーシ、Dell PowerEdge VRTX シャーシ、Dell PowerEdge M1000e シャーシ、および Dell OEM Ready シャーシ上の Chassis Management Controller (CMC) の検出と監視をサポートします。

シャーシ監視機能は、OpsMgr 2012 の個々のシャーシコンポーネントの詳細監視もサポートします。

検出とグループ化

Dell Server Management Pack Suite は、Dell Chassis Management Controller (CMC)、Dell PowerEdge FX2/FX2s、Dell PowerEdge M1000e、および Dell PowerEdge VRTX の検出と分類を可能にします。

次の表は、Dell CMC 監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 20. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell CMC	Dell Chassis Management Controller (CMC) グループ	ネットワーク上の CMC インスタンス、CMC のシャーシスロットサマリおよびサーバーモジュール。
Dell PowerEdge M1000e	Dell M1000e シャーシグループ	Dell PowerEdge M1000e
Dell PowerEdge VRTX	Dell VRTX シャーシグループ	Dell PowerEdge VRTX
Dell FX2	Dell FX2 シャーシグループ	Dell PowerEdge FX2

シャーシデバイスの検出

シャーシデバイスは、OpsMgr コンソールの **管理** セクションでネットワークデバイスとして検出されます。

シャーシデバイスを検出するには、次の手順を行います。

1. OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4. **検出ウィザード** を実行し、**ネットワークデバイス** を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。

 **メモ:** シャーシデバイスの検出用に作成した **Run As アカウント** を選択します。詳細については、dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement で『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.2 インストールガイド』の「サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを関連させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。

5. OpsMgr 2012 の **デバイスコンソールの追加** 画面で、スキャンする IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 **Run As アカウント** ドロップダウンボックスから適切な Run As アカウントを選択します。
6. **Feature Management Dashboard** を使用してシャーシ監視機能を有効にします。

Dell シャーシ監視機能による検出

表 21. Dell シャーシ監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
Dell CMC 検出	サポートされている Dell CMC、Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge VRTX、Dell PowerEdge M1000e、および Dell OEM Ready シャーシのすべてを検出します。
Dell CMC スロット検出	CMC デバイス上のスロットを検出します。
Dell シャーシ詳細検出	Dell シャーシコンポーネントすべてを検出します。

監視

Dell Server Management Pack Suite のインストール後、OpsMgr の **監視** ペインを使用して、検出された Dell CMC デバイスの完全な正常性情報を表示するビューを選択することができます。シャーシ監視機能は、Dell CMC デバイスの正常性を検出および監視します。[重大度レベルインジケータ](#)は、ネットワーク上の Dell CMC デバイスの正常性を示します。

シャーシ監視には、一定間隔およびイベント発生時の両方における Dell シャーシデバイスの正常性の監視が含まれます。

 **メモ:** シャーシの詳細監視を実行するには、Dell CMC へのアクセスに必要な WS-Man 資格情報で Run As アカウントを作成し、そのアカウントをプロファイル（Dell CMC ログインアカウント Run As プロファイル）に関連付けます。

監視対象ハードウェアコンポーネント

メモ:

- RACADM ユーティリティが存在しない場合、一部のインベントリ属性および正常性が使用できません。このため、RACADM ユーティリティのインストールを求める 1 回限りの警告アラートが生成されます。
- RACADM ユーティリティが存在しない場合、CMC グループ、CMC コンポーネント、IO モジュールコンポーネント、IO モジュールグループ、および電源装置グループコンポーネントが **警告** 状態になります。CMC グループ、CMC コンポーネント、IO モジュールコンポーネント、IO モジュールグループ、および電源装置グループコンポーネントを監視するには、RACADM ユーティリティを有効にします。

次の表は、拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 22. 監視対象ハードウェアコンポーネント – 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
CMC スロット情報	いいえ	いいえ
CMC スロット	いいえ	いいえ
ファングループ	いいえ	はい
ファン	いいえ	はい
IO モジュール	いいえ	はい
IO モジュールグループ	いいえ	はい
PCIe デバイスグループ	いいえ	いいえ
PCIe デバイス	いいえ	いいえ
電源装置グループ	いいえ	はい
電源装置	いいえ	はい
ストレージ	いいえ	はい
ストレージコントローラ	いいえ	はい
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	いいえ	はい
ストレージコントローラ仮想ディスク	いいえ	はい
ストレージコントローラ物理ディスクグループ	いいえ	はい

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
ストレージコントローラ物理ディスク	いいえ	はい
ストレージエンクロージャ	いいえ	はい

アラートビュー

このビューは、Dell CMC デバイスからのハードウェアイベントおよびストレージイベントの管理に使用します。シャーシデバイスが送信する SNMP トラップがシャーシ監視機能によって表示されます。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでシャーシ監視アラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2. **Dell** → **アラートビュー** とクリックします。
次の個別の **アラートビュー** が表示されます。
 - **CMC アラート** – 検出されたシャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
 - **Dell シャーシのアラートビュー**
 - **Dell FX2 シャーシアラート** – 検出された Dell PowerEdge FX2 シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
 - **Dell M1000e シャーシアラート** – 検出された Dell PowerEdge M1000e シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
 - **Dell VRTX シャーシアラート** – 検出された Dell PowerEdge VRTX シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
3. 任意の **アラートビュー** を選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
4. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、ネットワーク上にあるすべての Dell CMC デバイス、Dell FX2、Dell M1000e、および Dell VRTX の階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムの表示

OpsMgr コンソールでシャーシ監視機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** → **Dell** → **ダイアグラムビュー** とクリックします。
2. 次のビューについては、**ダイアグラムビュー** に移動します。
 - [ダイアグラムビューを完了します。](#)
 - [シャーシ管理コントローラグループ](#)
 - [Dell シャーシダイアグラムビュー](#)
 - **Dell FX2 シャーシダイアグラムビュー**

- Dell M1000e シャーシダイアグラムビュー
 - Dell VRTX シャーシダイアグラムビュー
3. 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
 4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Chassis Management Controllers グループ

Chassis Management Controllers グループ ダイアグラムビューには、すべての Dell CMC、Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge M1000e、および Dell PowerEdge VRTX と、それらのインベントリが図で表示されます。シャーシ検出については、「[シャーシデバイスの検出](#)」を参照してください。

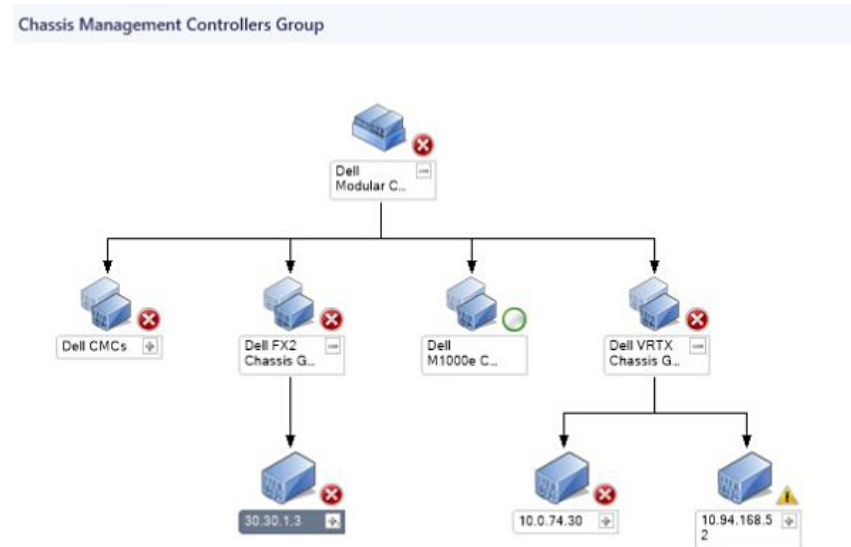



図 4. Chassis Management Controllers グループダイアグラム

検出された CMC シャーシについて、以下を表示するために、デフォルトで無効となっているスロット検出を有効にしてください。

- シャーシスロットサマリ 内の使用中および空きスロットのサマリ。
- **ダイアグラムビュー** に反映された、CMC シャーシで変更済みのスロットインベントリの詳細。
- **Chassis Management Controllers グループ** ダイアグラムに表示されている CMC シャーシのサーバーモジュールとの、エージェントフリーまたはエージェントベースの監視機能を使用する検出済み Dell サーバーの相関。Dell システムは、ダイアグラムのスロット下に表示されます。

 **メモ:** CMC スロット検出用の **Run As アカウント** は、シンプル、ベーシック、またはダイジェスト認証のみで作成してください。詳細については、dell.com/support/home で『*Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.2 インストールガイド*』の「サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。

 **メモ:** モジュラーシステムの iDRAC ファームウェアは、CMC ファームウェアとの互換性があるようにしてください。互換性がない場合、サービスタグが **該当なし** と表示され、シャーシブレード相関が不可能になる場合があります。

Dell シャーシダイアグラムビュー

Dell シャーシダイアグラムビューは、Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge M1000e シャーシ、および Dell PowerEdge VRTX シャーシデバイスを図示します。ダイアグラムでコンポーネントを選択すると、**詳細ビュー** ペインにその詳細が表示されます。

状態ビュー

このビューは、Dell CMC デバイスの正常性を表示するために使用することができます。OpsMgr コンソールで **監視** → **Dell** → **状態ビュー** とクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理される各 Dell デバイスのステータスが表示されます。

状態ビューを表示したい Dell CMC デバイスグループを選択します。次の状態を表示することができます。

- **CMC**
- **Dell シャーシ状態ビュー**
 - Dell FX2 シャーシ状態ビュー
 - Dell M1000e シャーシ状態ビュー
 - Dell VRTX シャーシ状態ビュー

コンポーネントの正常性は、そのコンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを見直すことにより取得されます。「[重大度レベルインジケータ](#)」では、Server Management Pack Suite が対応する重大度レベルと共に使用する様々な状態のコンポーネントについて説明しています。

シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

シャーシ監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 23. シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト	ユニット監視
Dell CMC	
Dell CMC ステータス	イベントおよび定期的監視
Dell シャーシ正常性全般	
Dell シャーシ正常性全般ユニット監視	イベントおよび定期的監視
Dell シャーシ I/O モジュール	
Dell シャーシ I/O モジュール正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell モジュラーシャーシファン	
Dell シャーシファン正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラーコントローラ	
Dell シャーシ CMC 正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラーコントローラグループ	
Dell シャーシ CMC グループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー電源装置	
Dell シャーシ電源装置正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー電源装置グループ	
Dell シャーシ電源装置グループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー PCIe デバイス	
Dell シャーシ PCIe デバイス正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージエンクロージャ	
Dell シャーシストレージエンクロージャ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラ	
Dell シャーシストレージコントローラ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラバッテリー正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラ仮想ディスク	
Dell シャーシストレージ仮想ディスク正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラエンクロージャ内部物理ディスク	

オブジェクト		ユニット監視
	Dell シャーシストレージ内部物理ディスクプライマリ正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
	Dell シャーシストレージ内部物理ディスクの予測障害正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラエンクロージャ外部物理ディスク		
	Dell シャーシストレージ外部物理ディスクプライマリ正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
	Dell シャーシストレージ外部物理ディスクの予測障害正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的

ルール

次の項には、Dell シャーシ監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール


Dell Server Management Pack Suite は、シャーシトラップからのルールを処理します。

シャーシデバイス

シャーシデバイス向けのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「DRAC/CMC 名または ip」
- OID = DRAC /CMC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップ

 **メモ:** 情報アラートはデフォルトでオフになっています。これらのアラートを受け取るには、情報アラート管理パックをインポートします。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

Dell シャーシを使用した Dell タスクの実行

次の表に、Dell シャーシを使用して実行できる Dell タスクのサマリを示します。

表 24. Dell シャーシを使用した Dell タスク

タスク	説明
Dell CMC Console の起動	CMC コンソールを起動します。

Dell シャーシタスク

Dell CMC コンソールの起動

CMC コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** と移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで CMC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell CMC タスク** → **Dell CMC Console の起動** と選択します。

シャーシモジュラーサーバー関連機能

シャーシモジュラーサーバー関連機能は次をサポートします。

- シャーシスロットとのエージェントフリーまたはエージェントベースの監視機能を使用する、検出済み Dell モジュラーサーバーの相関。
 - **メモ:** CMC スロット検出はデフォルトで無効にされています。このため、相関機能を機能させるには CMC スロット検出を有効にします。
- シャーシ共有ストレージコンポーネントと Dell サーバーの相関。
 - **メモ:** シャーシ共有コンポーネントと Dell サーバーとの相関に、シャーシ詳細監視をインポートします。

シャーシモジュラーサーバー関連機能による検出

表 25. シャーシモジュラーサーバー関連機能検出

検出オブジェクト	説明
Dell CMC シャーシからモジュラーサーバーへの相関検出	CMC シャーシと Dell モジュラーシステムの相関関係を検出します。
Dell シャーシストレージからブレードサーバへの相関検出	シャーシ共有コンポーネントと Dell サーバー（エージェントベース）間の相関関係を検出します。

Feature Management Dashboard

Feature Management Dashboard には、Dell サーバー、Dell Precision Rack、Dell Remote Access Controller (DRAC)、Dell PowerEdge FX2/FX2s、Dell PowerEdge VRTX、Dell PowerEdge M1000e、統合 DRAC (iDRAC) など、さまざまな Dell システムを監視するための、Dell Server Management Pack Suite 監視機能を設定する仕組みが備わっています。Feature Management Dashboard には次の監視機能があります。

- エージェントベースの監視機能
- エージェント不要の監視機能
- DRAC 監視機能
- シャーシ監視機能
- シャーシモジュラーサーバー関連機能

Dell Feature Management パックによる検出

表 26. Dell Feature Management Pack 検出


検出オブジェクト	説明
Dell Feature Management ホスト検出	管理サーバーが機能管理パックのホストである場合、ダッシュボードにデータを投入します。Dell Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバーが機能管理パックホストとして選択されます。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるタスクがリストされています。機能管理タスクの表にリストされているタスクの一部は、特定の監視機能をインポートした後でしか表示されません。

 メモ:

- イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。
- Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。
- **ダッシュボードの更新** タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。


 メモ:

表 27. 機能管理タスク

タスク	説明
シャーシモジュラーサーバー関連	
シャーシモジュラーサーバー関連機能のインポート	シャーシモジュラーサーバー関連機能をインポートします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
シャーシモジュラーサーバー関連機能の削除	シャーシモジュラーサーバー関連監視機能を削除します。
シャーシモジュラーサーバー関連機能のアップグレード	シャーシモジュラーサーバー関連機能の最新バージョンにアップグレードします。
シャーシ監視	
シャーシ監視詳細機能のインポート	シャーシ詳細監視機能をインポートします。
シャーシ監視拡張可能機能のインポート	シャーシ拡張可能監視機能をインポートします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
シャーシ監視機能の削除	シャーシ監視機能（拡張可能監視機能および詳細監視機能の両方）を削除します。
シャーシ詳細監視機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
シャーシ拡張可能監視機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタ

タスク	説明
	スクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
DRAC 監視	
DRAC 監視機能のインポート	DRAC 監視機能をインポートします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
DRAC 監視機能の削除	DRAC 監視機能を削除します。
DRAC 監視機能のアップグレード	DRAC 監視機能の最新バージョンにアップグレードします。
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベース監視	
エージェントプロキシの有効化	Dell サーバーに対するエージェントプロキシを有効にします。
エージェントベースの詳細機能のインポート	エージェントベース監視機能の詳細機能をインポートします。
エージェントベースの拡張可能機能のインポート	エージェントベース拡張可能機能をインポートします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
エージェントベース監視機能の削除	エージェントベースの監視機能を削除します。
優先監視手段としてのエージェントベースの設定	このタスクは、セットアップの Dell サーバーおよびラック型ワークステーションがエージェントベース監視機能とエージェントフリー監視機能の両機能によって監視されるときに、エージェントベース監視機能を Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの優先監視メソッドとして有効にします。
情報アラートをオフに設定	エージェントベース拡張可能監視の使用時に情報アラートがオフになります。
情報アラートをオンに設定	エージェントベース拡張可能監視の使用時に情報アラートがオンになります。
エージェントベースの詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は 拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。

タスク	説明
エージェントベースの拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は 詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
サーバーおよびラック型ワークステーションエージェントフリー監視	
Run-As アカウントの関連付け	このタスクは、SMASH 検出に使用される Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell サーバーオブジェクトに関連付けます。詳細に関しては、「 Run As アカウントの関連付けタスク 」を参照してください。
エージェント不要の詳細機能のインポート	エージェントフリー監視機能の詳細機能をインポートします。
エージェント不要の拡張可能機能のインポート	エージェントフリー監視機能の拡張可能機能をインポートします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
エージェント不要の監視機能の削除	エージェント不要の監視機能を削除します。
優先監視手段としてのエージェント不要の設定	このタスクは、セットアップの Dell サーバーおよびラック型ワークステーションがエージェントベース監視機能とエージェントフリー監視機能の両機能によって監視されるときに、エージェントフリー監視機能を Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの優先監視メソッドとして有効にします。
エージェント不要の詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は 拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
エージェント不要の拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は 詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。

Dell Server Management Pack Suite のライセンス

ライセンス情報

エージェントフリー監視機能は、OpsMgr の Dell Server Management Pack Suite でライセンスされています。ソフトウェアライセンスを取得するプロセスは次のとおりです。

ライセンス

ライセンスは、1 ノード、50 ノード、200 ノード、およびノード数無制限の階層型バンドルとして提供されています。1 ノードライセンスは、評価用に無償で使用できます。OpsMgr 管理グループごとに 1 つ以上のライセンスを購入する必要があります。

ライセンスの詳細については、**Dell TechCenter** サイトにアクセスして、**OpenManage Integration Suite for Microsoft System Center** の wiki ページを参照してください。

ライセンスの購入

エージェントフリー監視機能を利用するには、適切なライセンスキー SKU (目的の管理下ノード数に基づく) を購入する必要があります。ライセンスは Dell のセールス担当者から購入できます。注文の確認とライセンスは、マイアカウント - デルで指定した電子メール ID に電子メールで送付されます。購入したライセンスは、Dell Online Licensing ポータル (dell.com/support/licensing) からダウンロードすることもできます。

ライセンスの使用状況の確認

コンソールで PowerEdge サーバーを管理するには、ライセンスが必要です。OpsMgr のエージェントフリー監視機能で管理されている PowerEdge サーバーを表示するには、OpsMgr で、**監視** → **Dell** → **Feature Management Dashboard** と選択します。

使用されているノード数が、**ノードの合計数** 列に表示されます。

データセンター内の PowerEdge サーバーが増加した場合、適切なライセンスバンドルを購入できます。

OpsMgr 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 からの変更

OpsMgr 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 までは、ライセンスの管理には Dell Connections License Manager (DCLM) が必要でした。Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 以降は、DCLM は不要になりました。

DCLM が削除されたため、ライセンス数の強制はなくなりました。Dell から購入したらライセンス数の制限に達したり超過した後でも、OpsMgr 向けエージェントフリー管理機能を使用して引き続き Dell

PowerEdge サーバーを管理できます。ライセンスの使用状況の確認 セクションには、管理されているノード数を確認する手順が表示され、Dell Inc. から付与された適切なライセンス数を所有していることを確認できます。管理しているノード数が購入したライセンス数を超過した場合は、ライセンスを購入して追加してください。

OpsMgr 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 用に購入したライセンスは、OpsMgr 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 以降に対しても有効です。製品がアップグレードされた後、以前のライセンスは有効で、以前購入したライセンスで規定された許容数までサーバーを管理できます。

ライセンスの使用条件

ライセンスは製品 EULA と同じ条件で規定されています。更新された最新のライセンス条件は、dell.com/learn/us/en/uscorp1/terms?s=corp から取得できます。ご質問がある場合は、Dell Sales and Support までご連絡ください。


関連文書とリソース

本章では、Dell Server Management Pack Suite の操作に役立つ文書および参考資料に関する詳細を説明します。

Operations Manager のためのパフォーマンスと拡張性に関するマイクロソフトガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Server Management Pack Suite を展開します。

拡張性に関するマイクロソフトの推奨については、マイクロソフトのウェブサイト technet.microsoft.com を参照してください。

 **メモ:** パフォーマンス向上のため、Operations Manager データウェアハウス、および / またはデータベースで **Autogrow** オプションが有効化されていることを確認してください。

その他の必要マニュアル

本ユーザーズガイドの他、dell.com/support/home から入手可能な次のガイドを参照する必要がある場合もあります。


- *Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズガイド*
- *Dell OpenManage Installation and Security ユーザーズガイド*
- *Dell OpenManage Server Administrator Installation Guide (Dell OpenManage Server Administrator インストールガイド)*
- *Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド*
- *Dell OpenManage Server Administrator CIM Reference Guide (Dell OpenManage Server Administrator CIM リファレンスガイド)*
- *Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド*
- *Dell OpenManage Server Administrator コマンドラインインタフェースユーザーズガイド*
- *Dell OpenManage Baseboard Management Controller Utilities User's Guide (Dell OpenManage ベースボード管理コントローラユーティリティユーザーズガイド)*
- *Dell OpenManage Port Information Guide (Dell OpenManage ポート情報ガイド)*
- *Dell Life Cycle Controller User's Guide (Dell Life Cycle Controller ユーザーズガイド)*
- *Dell Chassis Management Controller User's Guide (Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド)*
- *Dell PowerEdge VRTX 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- *Dell PowerEdge FX2 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*

『Dell Systems Management Tools and Documentation』DVDには、Server AdministratorのリリースノートファイルおよびこのDVDに含まれるその他のシステム管理ソフトウェアアプリケーションのリリースノートファイルが収録されています。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス


デルサポートサイトから文書にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. **dell.com/support/manuals** にアクセスします。
2. **サービスタグまたはエクスプレスサービスコードをお持ちですか?** セクションの **いいえ** で **すべてのデル製品のリストから選択する** を選択し、**続行** をクリックします。
3. **お使いの製品タイプを選択してください** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
4. **お使いのデル製システムを選択してください - Software** セクションで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **クライアントシステム管理**
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
5. マニュアルを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。

 **メモ:** または、次のリンクを使用してマニュアルに直接アクセスすることもできます。

- **エンタープライズシステム管理マニュアル** – dell.com/openmanagemanuals
- **リモートエンタープライズシステム管理マニュアル** – dell.com/esrmanuals
- **Serviceability Tools マニュアル** – dell.com/serviceabilitytools
- **クライアントシステム管理マニュアル** – dell.com/OMConnectionsClient
- **OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル** – dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
- **OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル** – dell.com/OMConnectionsClient

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの上部にある **国 / 地域の選択** ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。

付録 A – 問題とその解決

問題と解決策

次の表では、既知の問題、解決策、および問題の対象をリストしています。

表 28. 問題と解決策

問題	解決策	対象
Dell ネットワークデバイス用の ダイアグラムビュー で、Dell DRAC およびシャーシオブジェクトの基本属性が表示されない。	この問題を解決するため、 状態ビュー でオブジェクトをクリックすることにより、詳細な属性一連を表示することができます。	Dell シャーシ監視機能
サーバーモジュールおよびシャーシスロットサマリ情報が CMC に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • CMC を管理する管理サーバーに OpenManage Server Administrator (OMSA) または DRAC ツールがインストールされていることを確認します。 • CMC デバイスに RunAsAccounts が設定されており、「Dell CMC ログインアカウント」と関連付けられていることを確認します。 • Dell CMC スロット検出 およびルールが、OpsMgr コンソールの オーサリングペイン から有効化されていることを確認します。 	Dell シャーシ監視機能
プログラムの追加と削除 または プログラムのアンインストールと変更 から Dell Server Management Pack バージョン 6.2 の 修復 オプションを実行している間にエラーが発生しました。	インストーラの 修復 オプションを使用してください。詳細に関しては、『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.2 インストールガイド』の「インストーラの修復オプションの使用」の項を参照してください。	Dell Server Management Pack Suite
CMC デバイスの検出中に応答の遅延が発生した場合は、デバイスからの最新情報がアップデートされない、スクリプトタイムアウトエラーが生成される、または一時フォルダ内のログファイルがクリアされません。	応答の遅延が発生している CMC デバイスの 上書きプロパティ 画面で スクリプトタイムアウト 値を増やしてください。上書きの詳細に関しては、 technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。	Dell シャーシ監視機能

問題	解決策	対象
Feature Management ホストサーバーの正常性サービスがダウンしています。	<p>選択した管理サーバーの動作が停止した場合、実行された機能管理タスクが失敗します。選択した管理サーバーが破損している、または正常性サービスを取得できないといった状況下では、管理サーバーを廃棄して古いオブジェクトを削除します。詳細については、technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx を参照して下さい。</p> <p>残りの管理サーバーから管理サーバーを選択して、機能管理ホスト検出の FMPHostFQDN を上書きします。</p>	Dell Server Management Pack Suite
コンソールの監視 → アラートビュー → サーバーアラートに Dell OM : サーバーおよびそのコンポーネントの正常性計算に失敗 アラートが表示されます。	<p>Run As アカウント を Dell サーバー監視用に手動で関連付けます。詳細については、「エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバー監視に対する Run As アカウントの関連付け」を参照してください。</p>	Dell エージェントフリー監視機能


既知の制限

表 29. 既知の制限

制限	対象
Dell MP、電源制御、および LED タスクは、デフォルトの資格情報のみを使用します。オーサリング ペインで新しいタスクを作成して表示すると、指定したユーザー名とパスワードを確認できます。資格情報は、タスク表示時に非表示にはなりません。	Dell Server Management Pack Suite
正常性エクスペローラの使用中、Server Management Pack Suite (センサーおよび OpenManage Services インスタンスの下) の一部のユニット監視が、サブインスタンスが存在しなくても緑色ステータスを表示する場合があります。これは、ターゲットクラスが存在し、ユニット監視が実行されたときに、ユニット監視が使用不可状態になることができないためです。	Dell Server Management Pack Suite
センサーのイントルージョンユニットモニタのステータスは、シャードのみの状態を示すものであり、ベゼルイントルージョンの正常性は含まれていません。	Dell Server Management Pack Suite

付録 B

シンプル認証 Run As アカウントの作成

1. OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr 2012 にログオンします。
 2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
 3. **Run As 設定** → **アカウント** とクリックします。
 4. **アカウント** を右クリックして、**Run As アカウントの作成** をクリックします。
Run As アカウントの作成ウィザード画面が表示されます。
 5. **次へ** をクリックします。
 6. **Run As アカウントタイプ**：ドロップダウンメニューから、**シンプル認証** を選択します。
 7. **表示名**：テキストボックスに表示名を入力します。
 8. **説明 (オプション)**：テキストボックスに短い説明を入力して、**次へ** をクリックします。
 9. **資格情報** 画面で、エージェントフリー監視機能を使用して検出するシステムの iDRAC ログイン資格情報を入力します。
 10. **次へ** をクリックします。
 11. 必要に応じて **低セキュリティ** または **高セキュリティ** オプションを選択します。
詳細に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh321655.aspx の OpsMgr マニュアルを参照してください。
-  **メモ**: iDRAC ログイン資格情報がシステムごとに異なる場合、それぞれに個別の **Run As アカウント** を作成します。
12. **作成** をクリックします
 13. **Run As アカウント** が作成されたら、**閉じる** をクリックします。

エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバー監視のための Run As アカウントの関連付け

Dell サーバーを監視するには、そのサーバーを検出するために使用された **Run As アカウント** を **SMASH デバイス監視プロファイル内の Dell サーバー** と関連付ける必要があります。管理パックは関連付けを自動で実行しますが、Run As アカウントを手動で関連付けする必要がある場合もあります。

SMASH デバイス監視プロファイル内で Run As アカウントを手動で関連付けるには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr 2012 を立ち上げて、**管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**Run As 設定** → **プロファイル** と移動します。
3. 使用可能なプロファイルのリストから、**SNMP デバイス監視プロファイル** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
はじめに画面が表示されます。
4. **次へ** をクリックします。

Run As プロファイルの一般プロパティの指定 画面が表示されます。


5. 次へ をクリックします。

Run As アカウント 画面が表示されます。

6. 追加 をクリックします。

Run As アカウントの追加 画面が表示されます。

7. Run As アカウント ドロップダウンリストから、Dell サーバーの検出に使用した Run As アカウントを選択します。


 **メモ:** デバイスの検出に複数の Run As アカウントを使用している場合は、各デバイスをそれに関連する Run As アカウントに関連付けます。

8. 選択したクラス、グループ、またはオブジェクト をクリックして、SMASH 監視プロファイルでサーバーの関連付けを追加します。

- 選択 → クラスオプションをクリックし、選択に **Dell サーバー** を使用します。
- 選択 → グループオプションをクリックし、選択に Dell サーバーオブジェクトを含むグループを使用します。
- 選択 → オブジェクトオプションをクリックし、選択に個々の Dell サーバーオブジェクトを使用します。

9. OK をクリックします。






10. 保存 および 閉じる をクリックします。

 **メモ:** Run As アカウントの関連付けが正常に行われなかった場合、コンソールの監視 → アラートビュー → サーバーアラートに **Dell OM: サーバーおよびそのコンポーネントの正常性の計算に失敗** というアラートが表示されます。

重要度レベルのインジケータ

以下の表は、OpsMgr コンソールにおける検出された Dell デバイスの重要度を示すアイコンをリストしています。

表 30. 重要度レベルのインジケータ

アイコン	重大度レベル
	正常 / OK – コンポーネントは正常に動作しています。
	警告 / 非重要 – プローブまたはその他の監視デバイスが、許容レベル以上または以下の読み取り値のコンポーネントを検出しました。コンポーネントが引き続き動作している場合もありますが、故障する可能性があります。正常な機能が損なわれた状態でコンポーネントが動作している可能性もあります。
	重要 / 障害 / エラー – コンポーネントが故障しているか、故障が差し迫った状態です。コンポーネントに対して迅速な対応が必要で、交換が必要な場合もあります。データ損失が発生している可能性があります。
	正常性ステータスは、特定のコンポーネントには適用されません。
	サービスを利用できません。

Run As アカウントの関連付けタスク – エージェント不要の監視機能

Run As アカウントの関連付けタスクでは、SMASH 検出で使用した Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell サーバーオブジェクトに関連付けます。このタスクは、オブジェクトレベルの関連付けを実行するオプションとして使用できます。



警告: Run As アカウントの関連付けタスクは、必要な場合にのみ実行してください。このタスクは、すべての Dell サーバーオブジェクトの設定に影響します。Dell サーバー Run As アカウント関連ユニット監視は、オブジェクトレベルの関連付けを自動的に実行します。

付録 C - 外部プログラムの有効化タスク

Dell Server Management Pack Suite によって提供される外部プログラムを起動するタスクは、デフォルトの場所にインストールされる必要があります。プログラムがデフォルトの場所にインストールされていない場合は、アプリケーションを起動するために新しいタスクを作成してください。

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクは、デフォルトの BMC 資格情報とインストールパス (C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc) を使用します。

システムがデフォルトの BMC 資格情報とインストールパスを使用しない場合は、管理サーバー上に BMU 2.0 以降をインストールして、新しいコンソールタスクを作成します。

△ **注意:** 次の手順では、タスクを作成して、プレーンテキストでパスワードを設定することが必要です。BMC が管理サーバーにインストールされていない場合は、OpsMgr コンソールがダイアログボックス内にコマンド全体とエラーを表示し、パスワードを明らかにすることがあります。このタスクを含む作成済み上書き管理パックをディスクにエクスポートすると、エクスポートされた管理パックを一般的なテキストエディタ、または OpsMgr オーサリングコンソールで開き、パスワードをプレーンテキストで表示することができます。新しいタスクの作成は必要不可欠な場合にのみ行い、続行する前にセキュリティ面を考慮してください。

タスクを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** ペインで **管理パックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
タスクの作成ウィザード画面が表示されます。
3. **タスクタイプの選択** 画面で、**コンソールタスク** にある **コマンドライン** を選択します。
4. 宛先の管理パックを選択し、**次へ** をクリックします。
5. **タスク名** および **説明** を入力し、**タスクターゲット** として **Dell Windows サーバー** を選択して、**次へ** をクリックします。
コマンドライン画面が表示されます。
6. **アプリケーション** フィールドに **ipmitool.exe** アプリケーションのパス (管理サーバー上で BMU がインストールされている場所へのパス) を入力します。
例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmitool.exe となります。2つの LED 識別タスクの場合、アプリケーションパスは C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmish.exe です (デフォルトの BMU パスは、オペレーティングシステム言語に応じて異なる場合があります)。
7. 電源制御タスクの場合、**パラメータ** フィールドに次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -I lanplus -H と入力し、ドロップダウンメニューから **IPMI 機能を伴うリモートアクセス IP** を選択します。
 - -U <username> -P <password> -k <kgkey> <IPMI Task String> と入力します。

- <IPMI Task String> を次のいずれかのオプションと置き換えます。
 - power status (電源ステータスの確認 タスクの場合)
 - power on (電源オン タスクの場合)
 - power soft (正常電源オフ タスクの場合)
 - power off (強制電源オフ タスクの場合)
 - power cycle (パワーサイクル タスクの場合)
 - power reset (電源リセット タスクの場合)
 - identify on (LED 識別表示オン タスクの場合)
 - identify off (LED 識別表示オフ タスクの場合)

例：

```
-I lanplus -H $Target/Property[Type="Dell.WindowsServer.Server"]/  
RemoteAccessIP$ -U root -P <password> -k <kgkey> power status
```

8. LED のオン / オフのタスクについては、次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -ip と入力し、ドロップダウンメニューから the **IPMI 機能でのリモートアクセス IP** を選択します。
 - -u <username> -p <password> -k <kgkey> <IPMI task string>. と入力します。
9. **作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい BMC タスクごとに、この手順を繰り返します。

License Manager 起動タスクの作成

License Manager 起動タスクは、変更不可のデフォルト Dell License Manager (DLM) インストールパス (%PROGRAMFILES(X86)%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe または %PROGRAMFILES%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe) を使用します。

システムがこれらを使用していない場合、管理サーバーに DLM をインストールして、**Dell サーバー用 DLM** でターゲットされる **オーサリング** ペインで新しいコンソールタスクを作成します。

新しいタスクを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** ペインで **管理パックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
3. **タスクタイプ** 画面で、**コンソールタスク** にある **コマンドライン** を選択します。
4. 宛先の管理パックを選択し、**次へ** をクリックします。
5. **タスク名** および **説明** を入力し、**タスクターゲット** を以下のいずれかで設定します。
 - Dell Windows サーバー (エージェントベース監視向け)
 - Dell サーバー (エージェントフリー監視向け)
 - Dell iDRAC7 または iDRAC8 (DRAC 監視向け)
6. **次へ** をクリックします。
コマンドライン 画面が表示されます。
7. **アプリケーション** フィールドに、アプリケーションのパス *Dell.DlmUI.exe* (管理サーバー上で DLM がインストールされている場所へのパス) を入力します。
 例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe となります (デフォルトの DLM パスは、オペレーティングシステムの言語に応じて異なる場合があります)。

8. **作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい DLM タスクごとに、この手順を繰り返します。